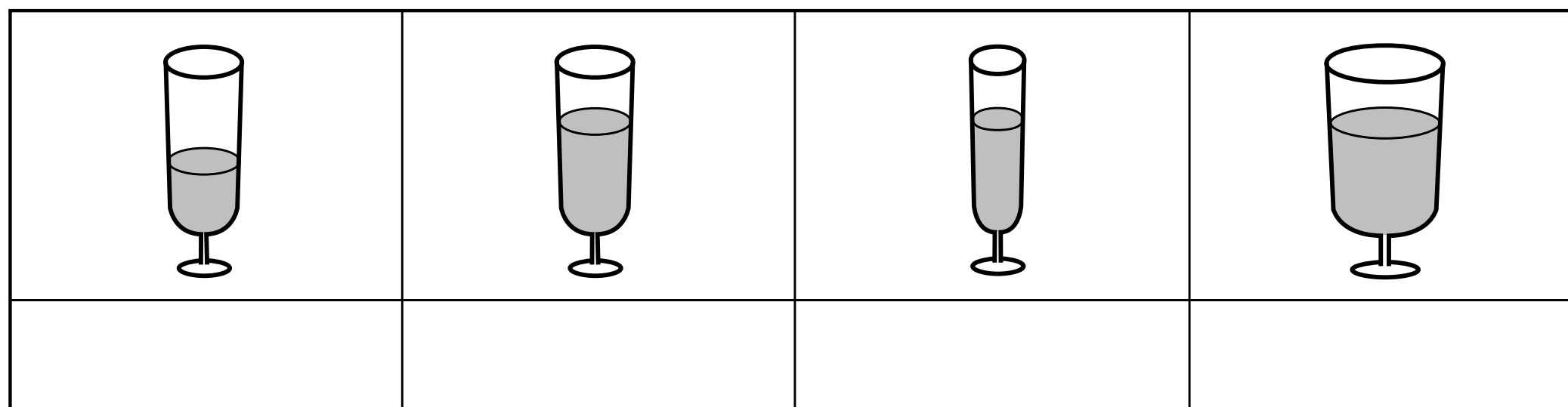
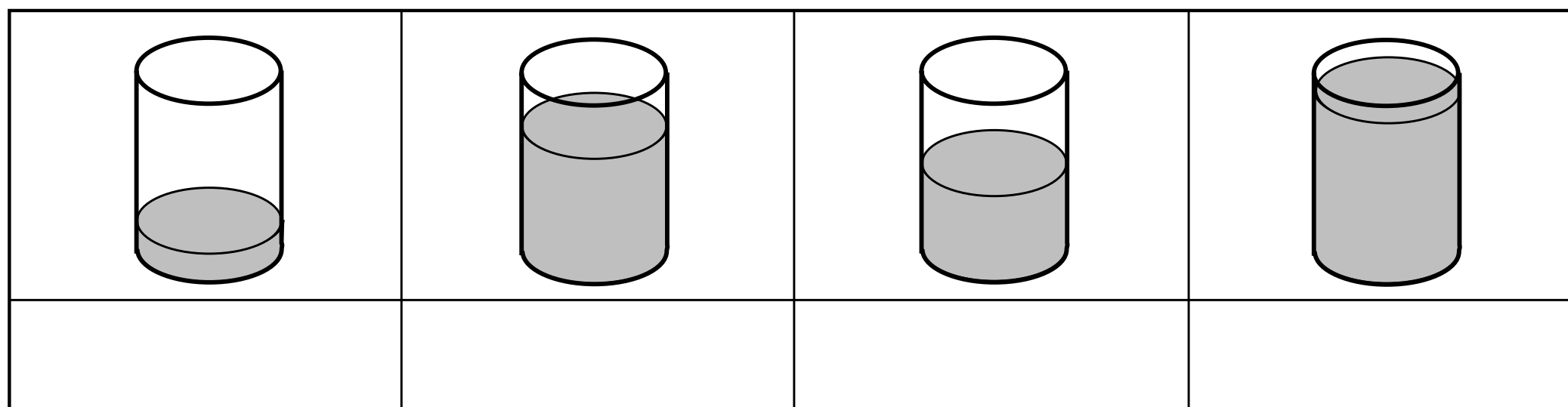
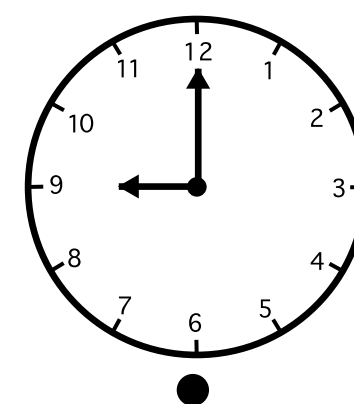
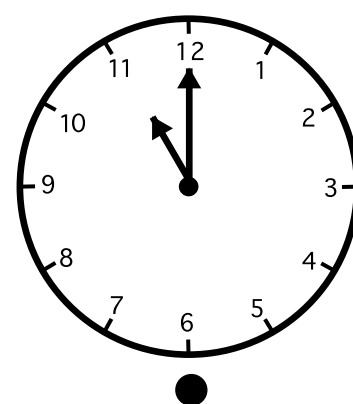
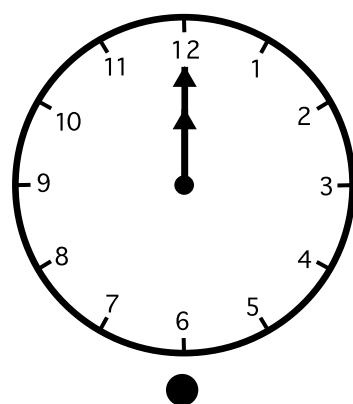
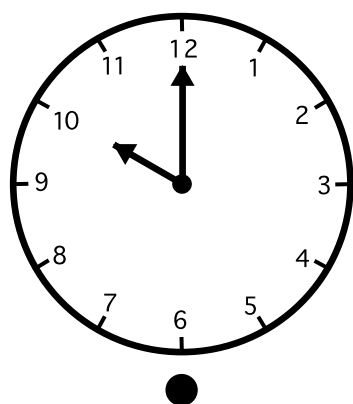




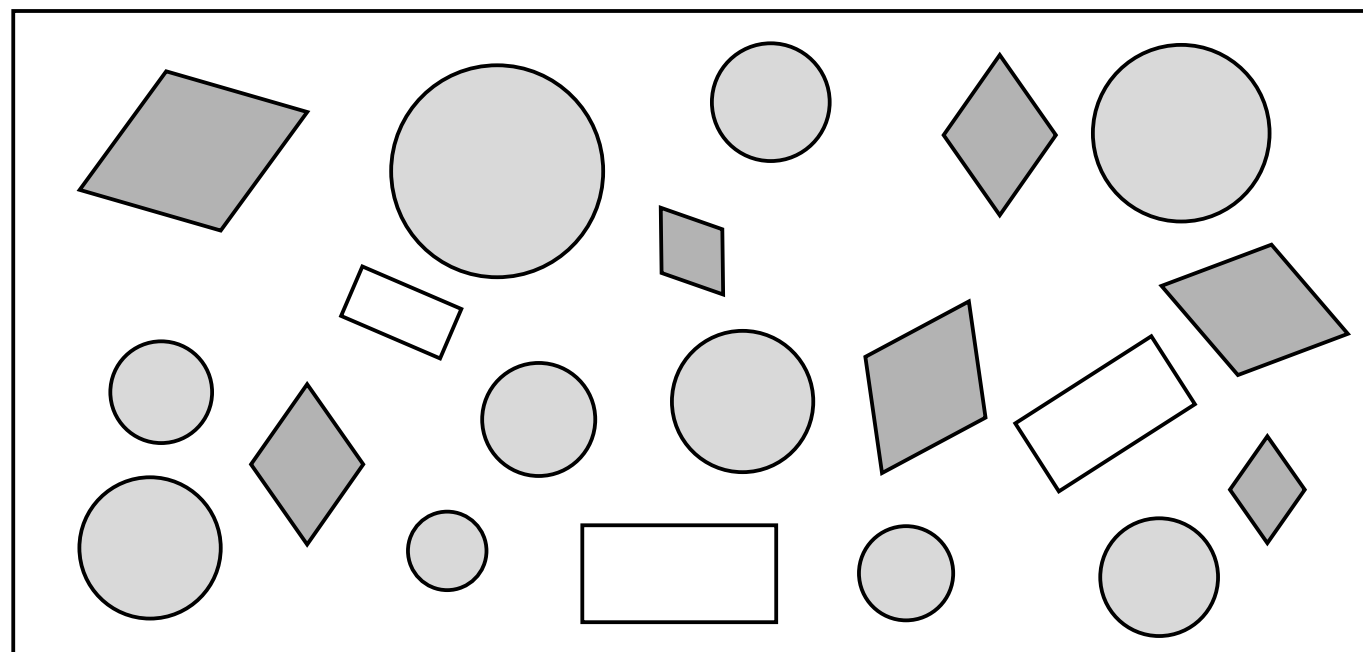


▲
9 : 0 0

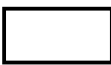
▲
1 0 : 0 0

▲
1 1 : 0 0

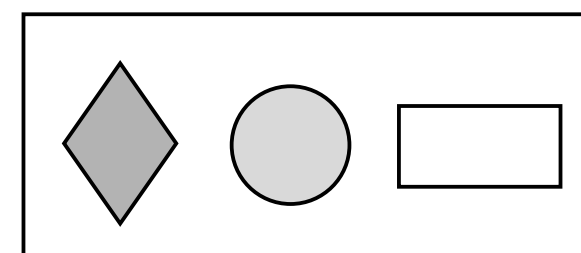
▲
1 2 : 0 0

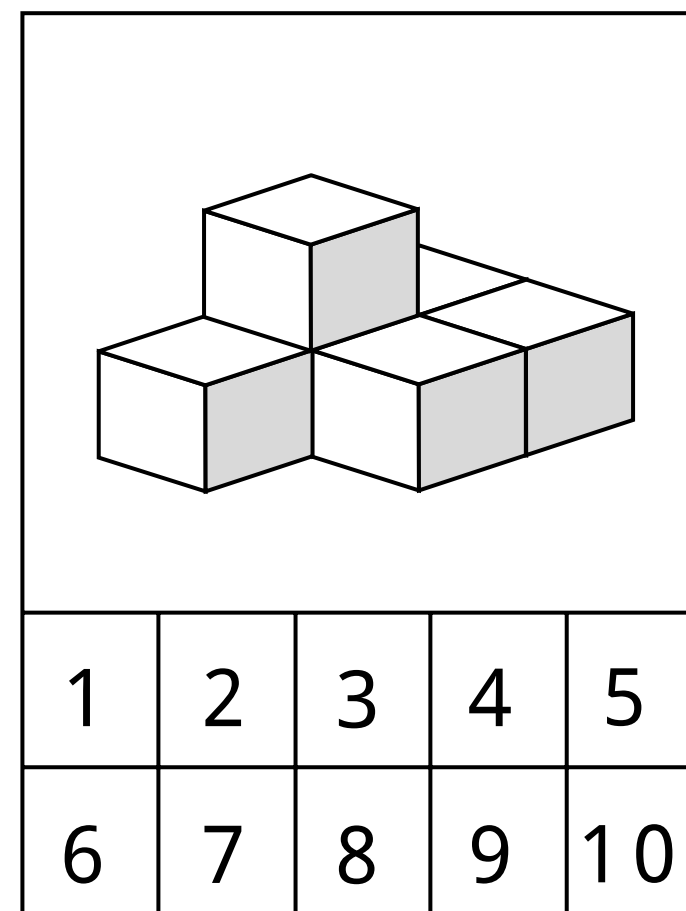
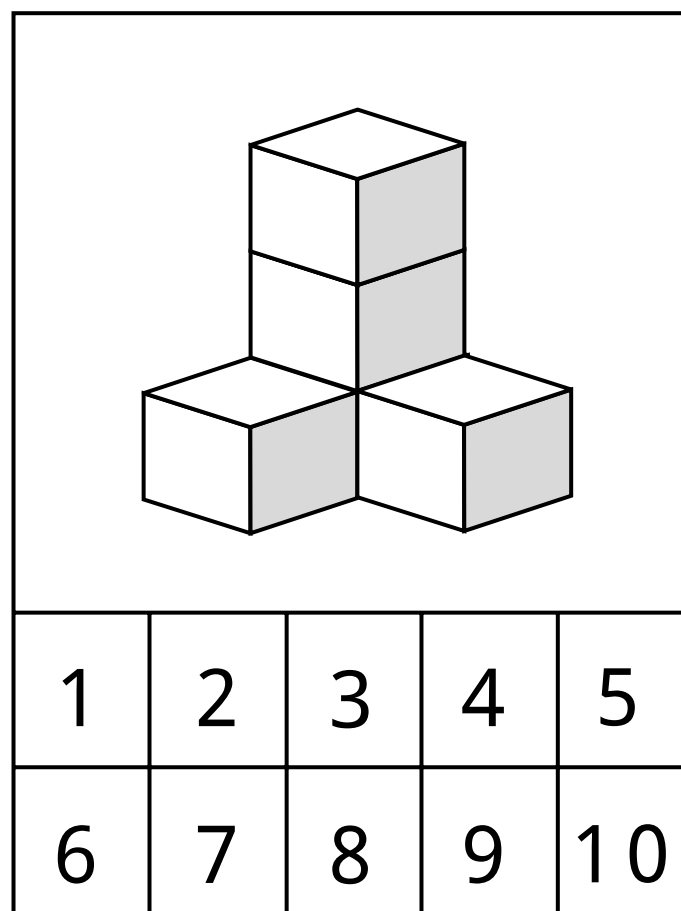
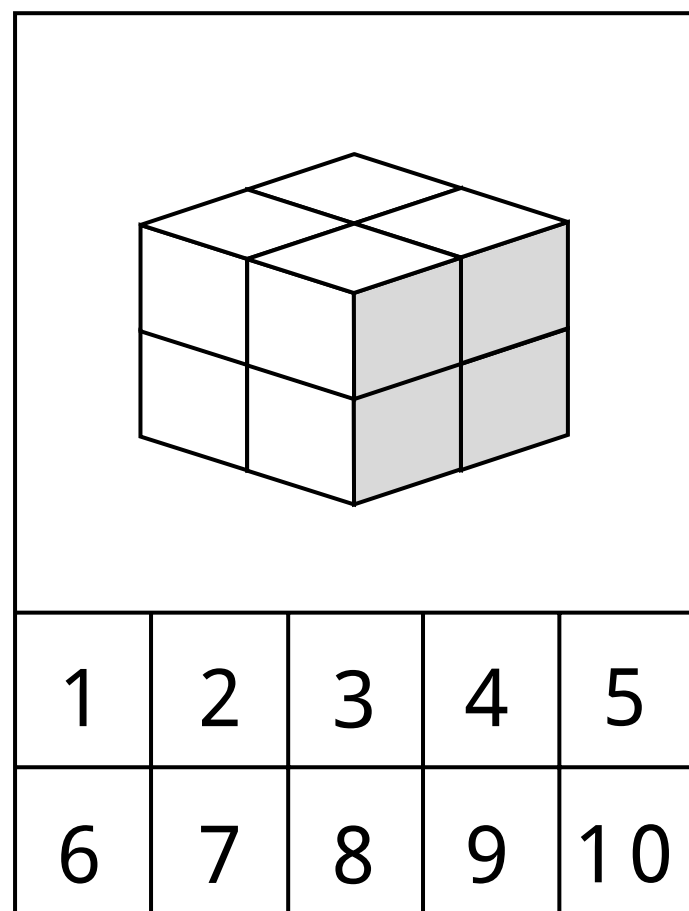


(1)

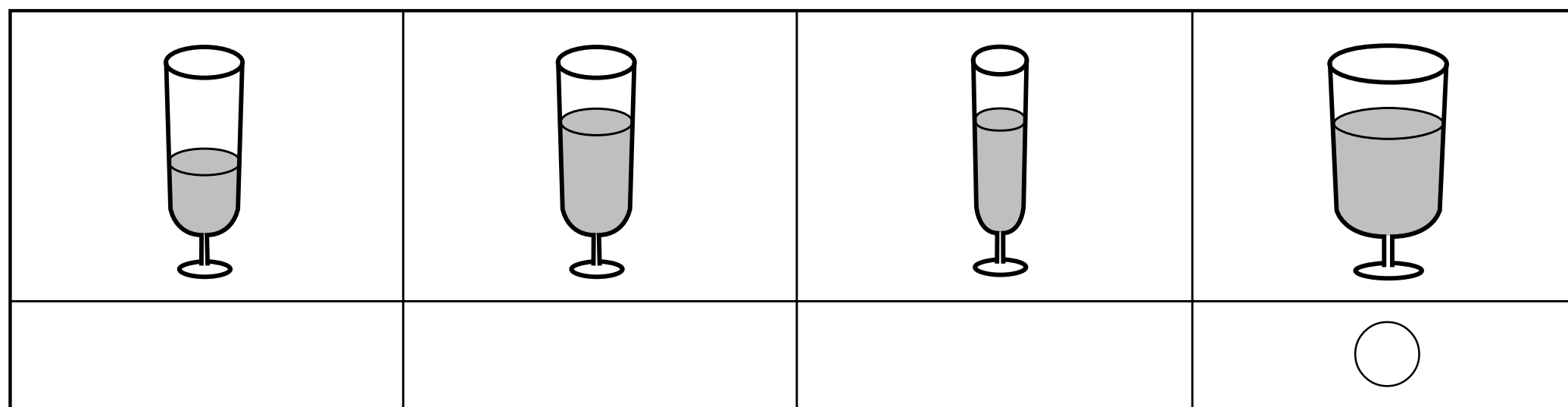
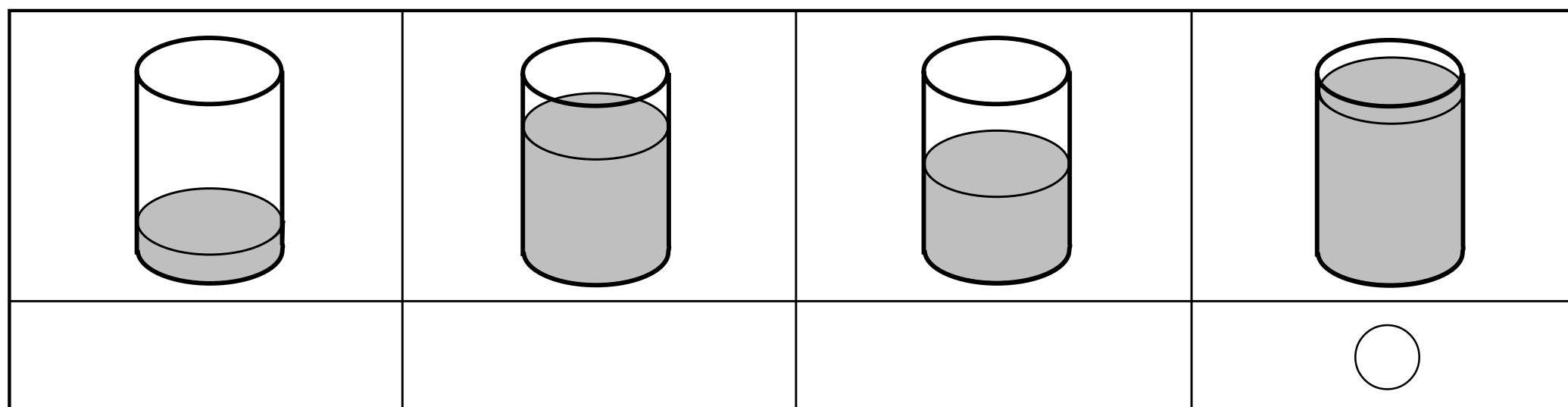
										
										
										

(2)





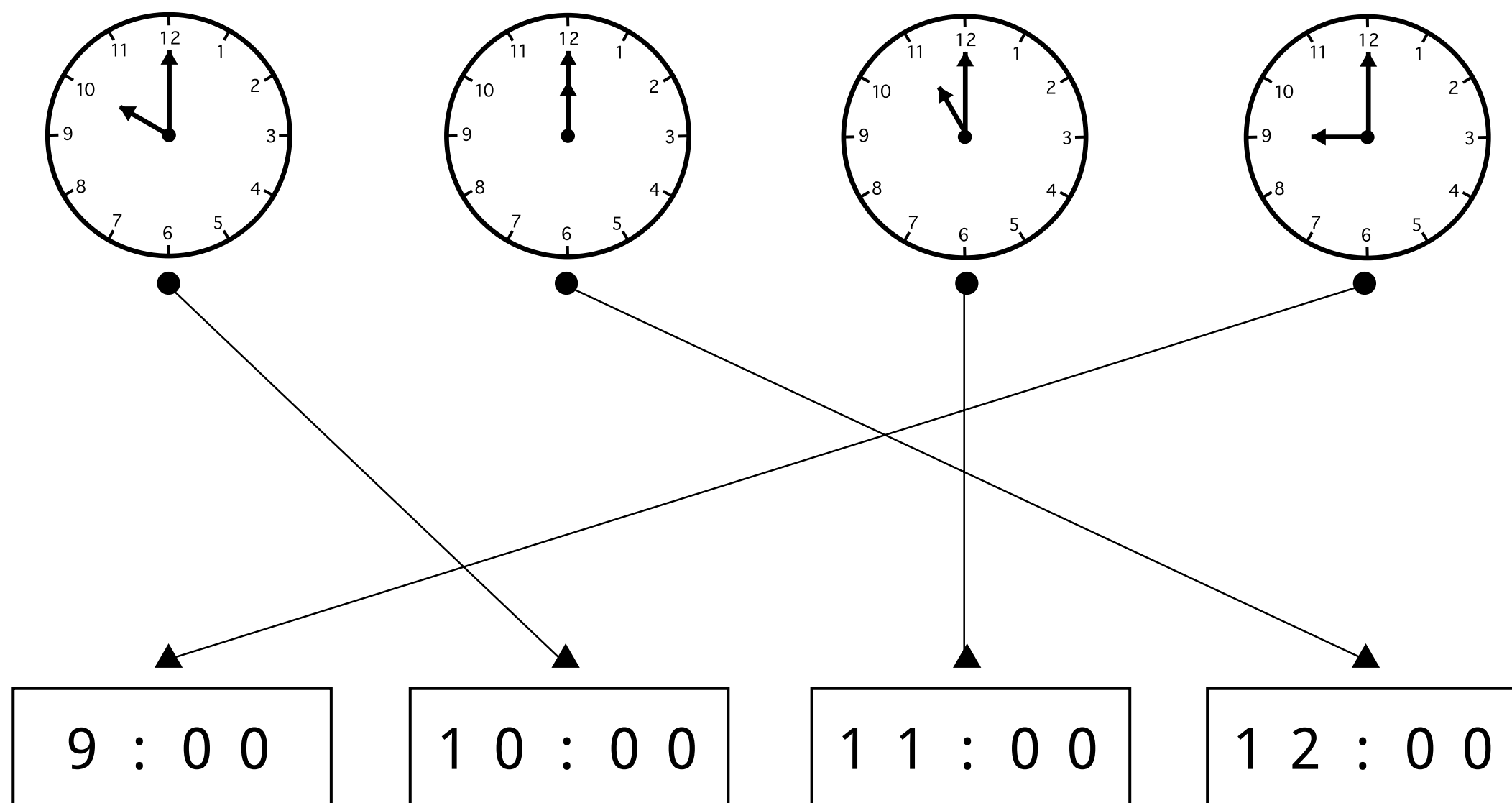
<問題> 量が一番多いものに をつけましょう。



<指導のポイント>

ちがった形の容器に入っていて水面が同じ高さの場合、太い容器の方が水の量が多いことを教えてあげましょう。実際にいろいろな容器に水を入れたり移しかえたりする経験をたくさんすると、しっかり理解できるようになってきます。

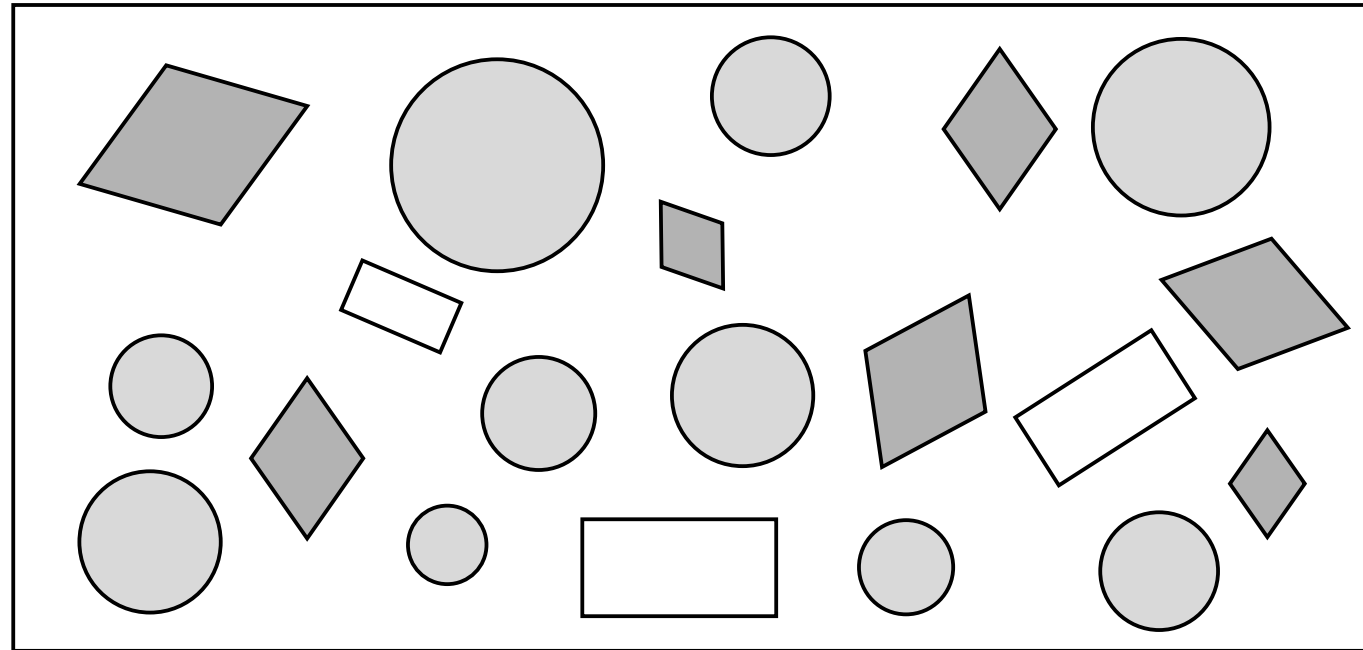
<問題> 何時ですか。同じ時刻を線で結びましょう。



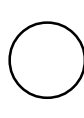
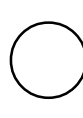
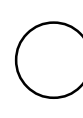
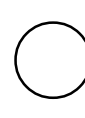
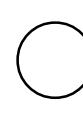
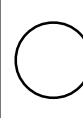
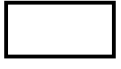
<指導のポイント>

長い針が12のところにきている時は、短い針がさしている数字をよんで「時」と言えばよいことを、教えてあげてください。お子さんが「時」と言えたら、下の段のどれと結ばよいかを指導者が指さしてあげるとよいでしょう。

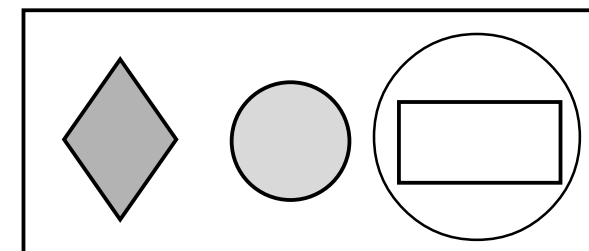
- <問題> (1) それぞれの形の数だけ□に、 を書きましょう。
 (2) 一番少ない形はどれでしょう。その形に、 をつけましょう。



(1)

(2)



<指導のポイント>

1つずつ絵に印をつけて、数え忘れや重複がないように数えましょう。ここでは、形の大きさに関係なく同じ形のものの数を数えます。バラバラになっていたものを、(1)のようにきちんと並んだ におきかえてみると、どれが一番少ないかよくわかりますね。

<問題> 積み木はいくつありますか。その数の数字に、 をつけましょう。

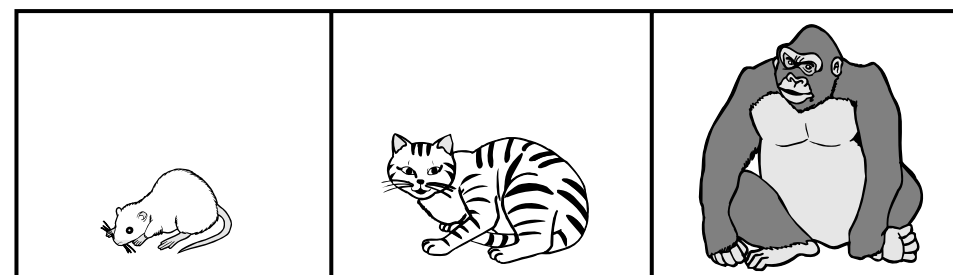
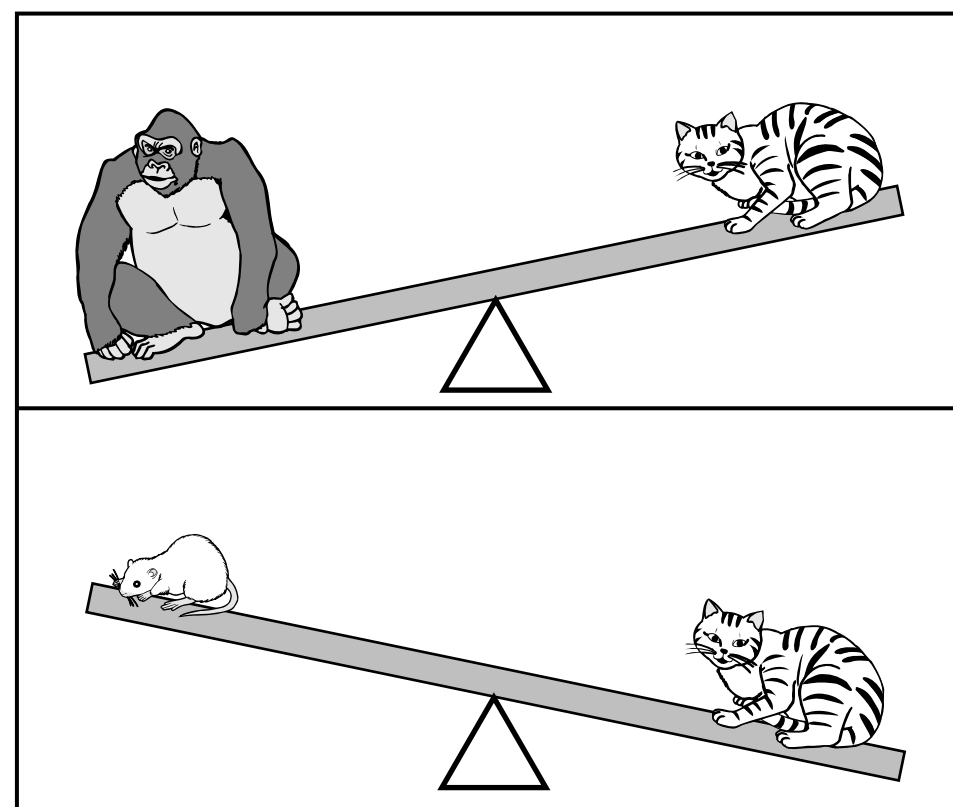
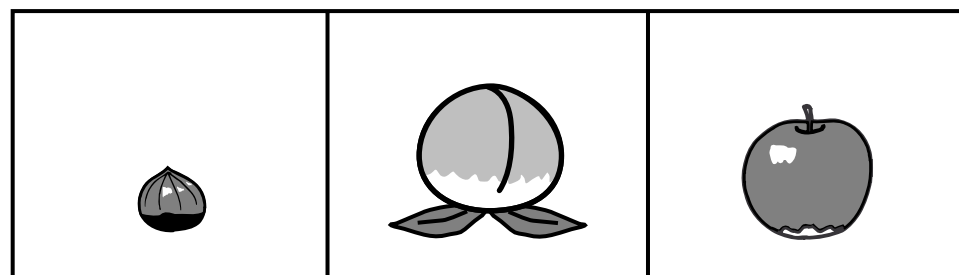
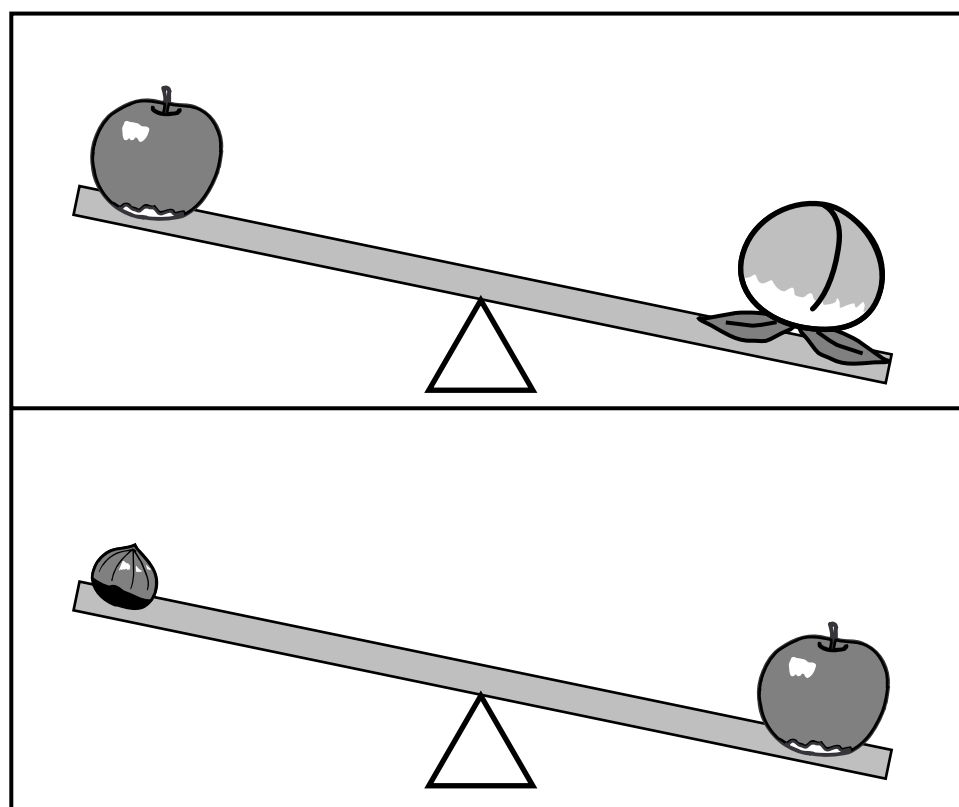
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

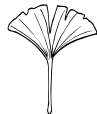
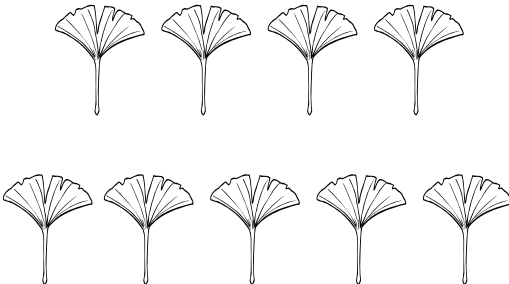
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

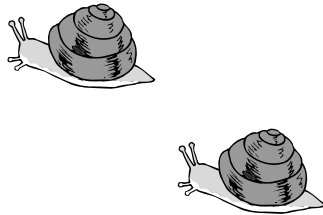
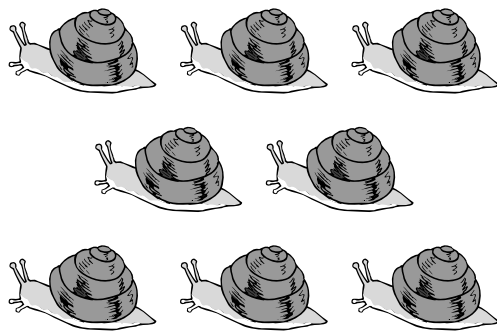
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

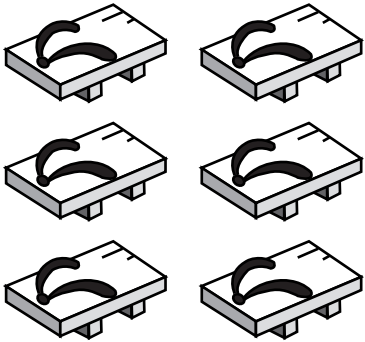
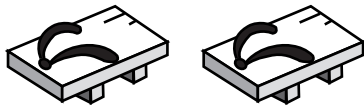
<指導のポイント>

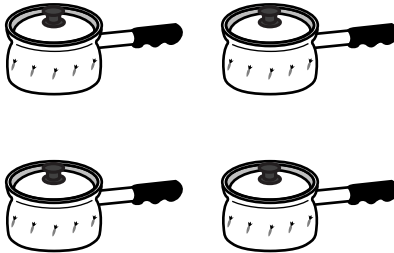
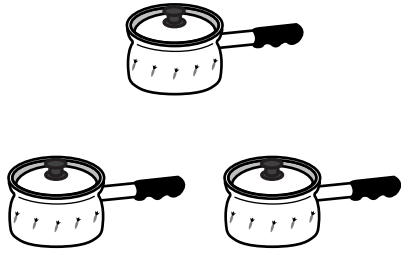
プリントの絵を見ながら、積み木の数数を数える練習をしましょう。たてに何個積んであるかをよく考えて、その数だけ、積み木の絵の上面に印（\）を書きます。見えないところにある積み木にも注意させましょう。印を全部数えて、答えを書きます。

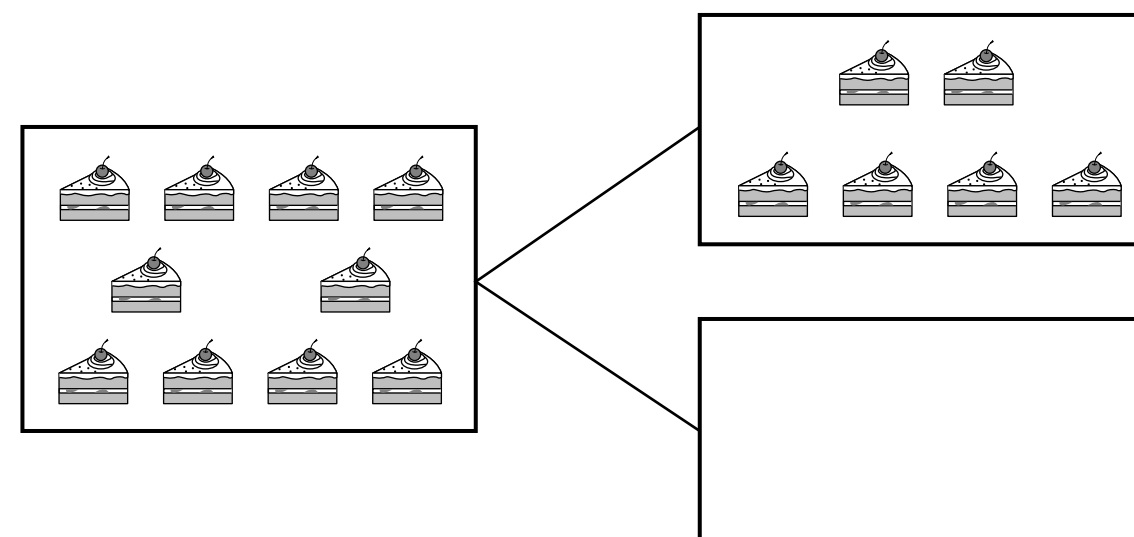
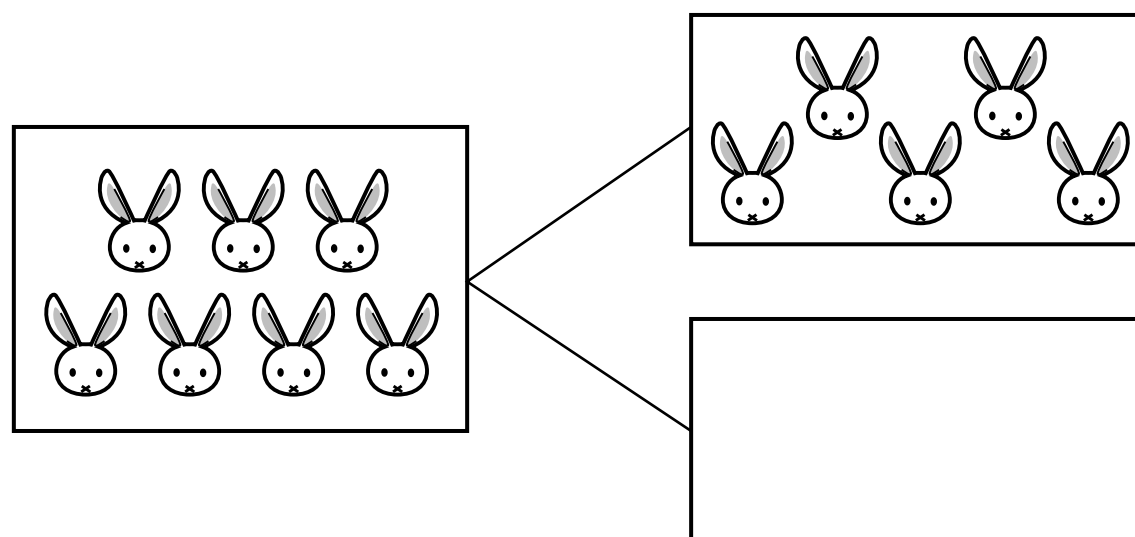
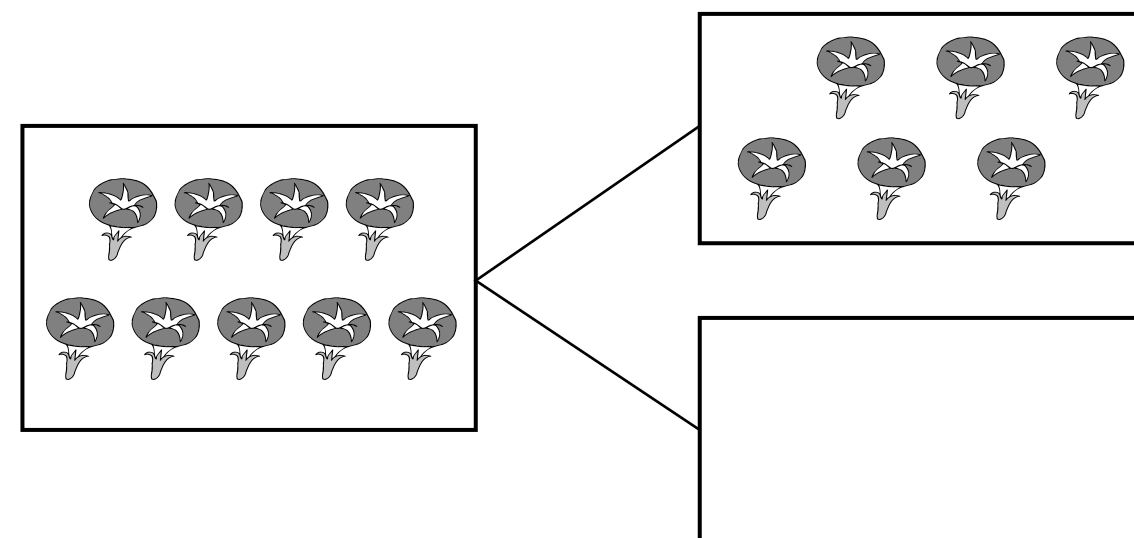
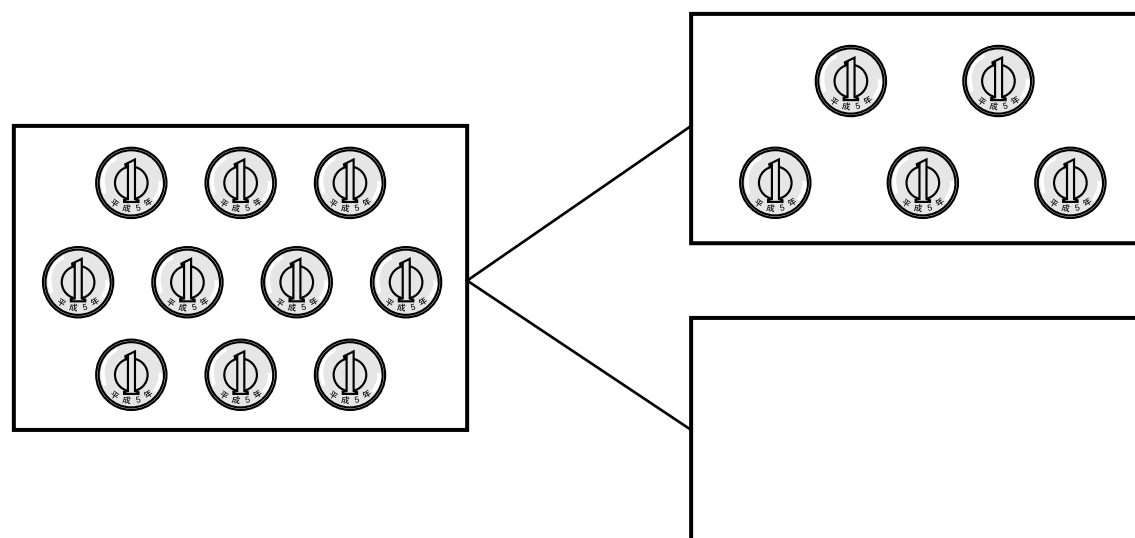


				
6	7	8	9	10

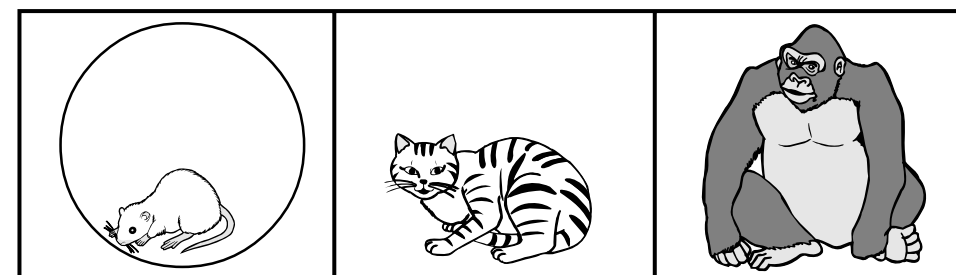
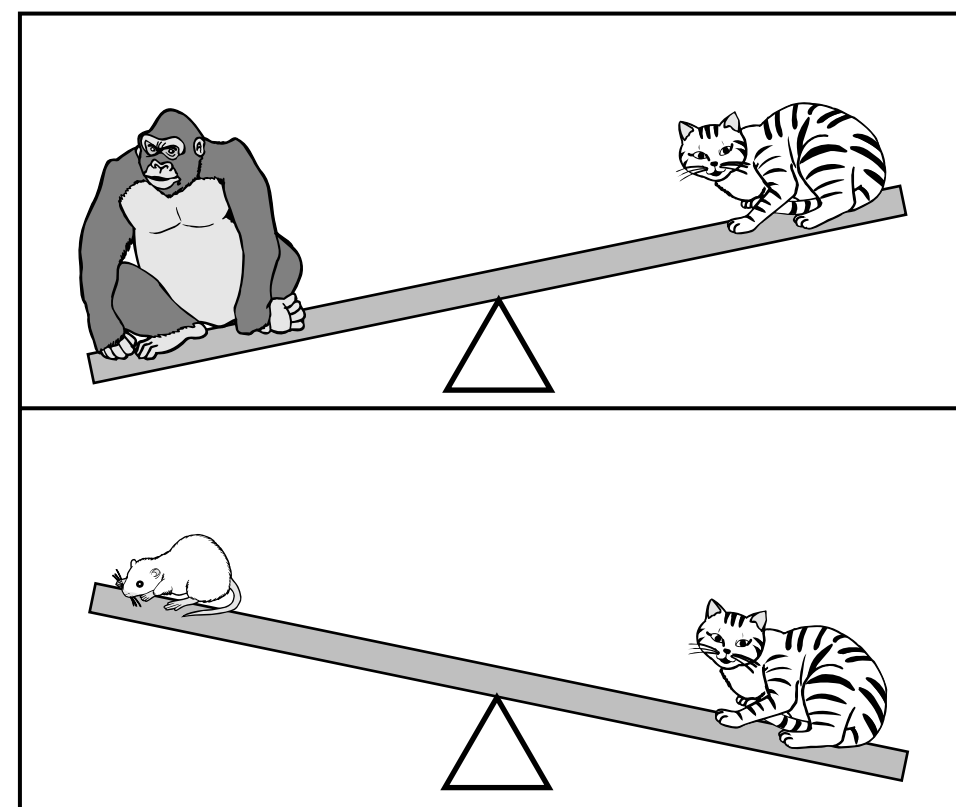
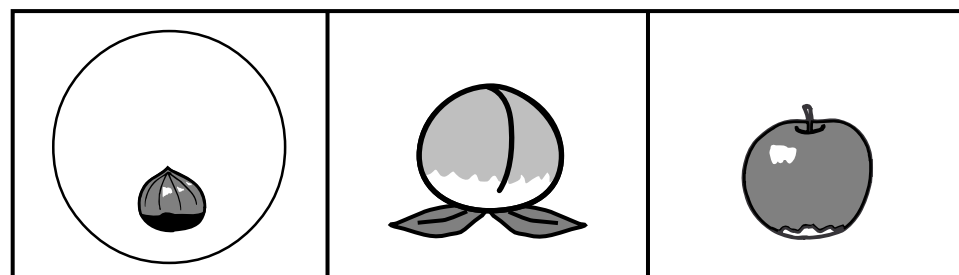
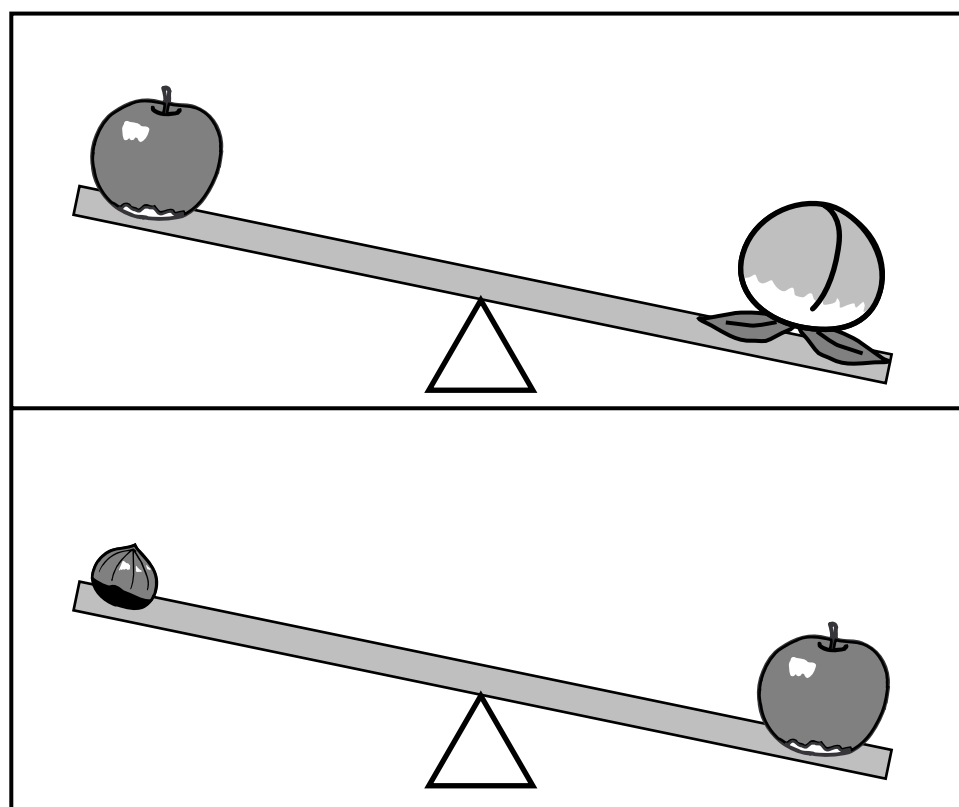
				
6	7	8	9	10

				
6	7	8	9	10

				
6	7	8	9	10



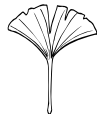
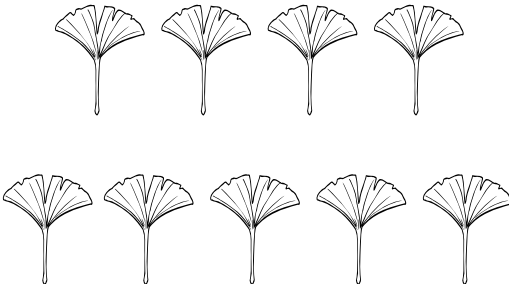
<問題> 何が一番軽いですか。下の絵に をつけましょう。

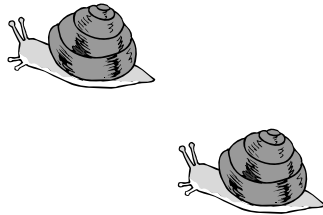
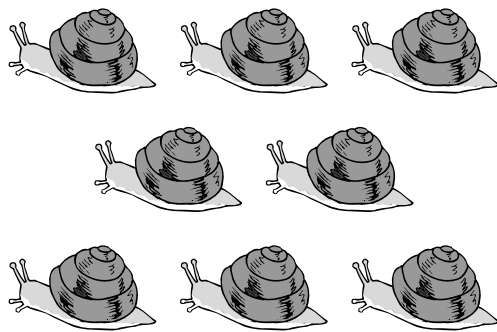


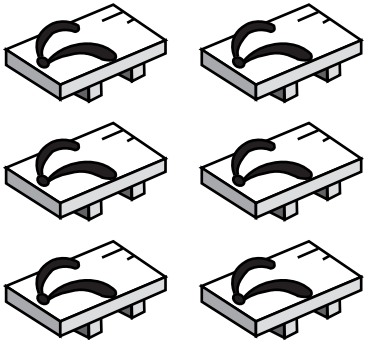
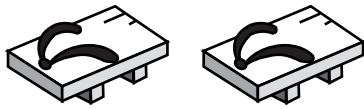
<指導のポイント>

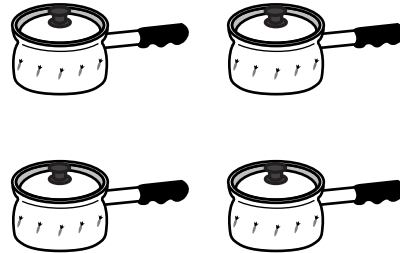
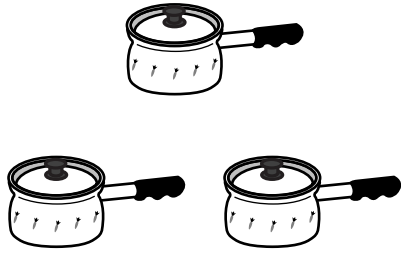
3つのものの重さを間接的に比べます。シーソーの絵では、下に傾いている方が重いことを、まず確認しておきましょう。わかりにくければ、実際に3つのもので重さを比べて説明してあげるとよいでしょう。

<問題> あわせるといくつになるでしょう。その数の数字に、 をつけましょう。

				
6	7	8	9	10

				
6	7	8	9	10

				
6	7	8	9	10

				
6	7	8	9	10

<指導のポイント>

答えが10以下のたし算の復習をします。答えあわせの時には「1と9で10」というように説明し、復唱させるとよいでしょう。積み木やお菓子などを使って、いろいろなたし算の練習をやってあげるとよいでしょう。

<問題> 残りはいくつですか。その数だけ、□に をかきましょう。

10 coins (10) - 2 coins (2) = 8 coins (8)

10 mushrooms (10) - 3 mushrooms (3) = 7 mushrooms (7)

8 rabbits (8) - 3 rabbits (3) = 5 rabbits (5)

10 cakes (10) - 2 cakes (2) = 8 cakes (8)

<指導のポイント>

「ひく5」「ひく6」のひき算です。左の絵に、右上の絵の数の分だけ / を入れて消して、残った数を数えさせましょう。□には、残った数と同じだけをかきます。答えあわせの時には、「10は5と5」というように練習もおきましょう。

すくすくどんどん (新作電子版)

Bシリーズ



年中用 ことば編 1

な

.

に

.

ぬ

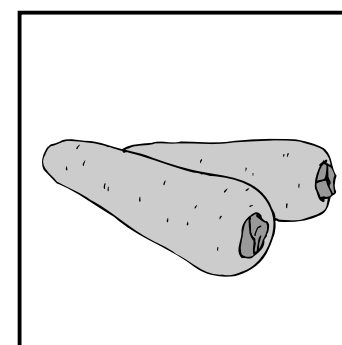
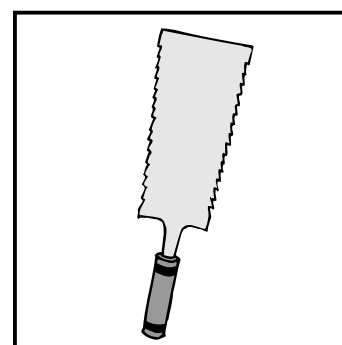
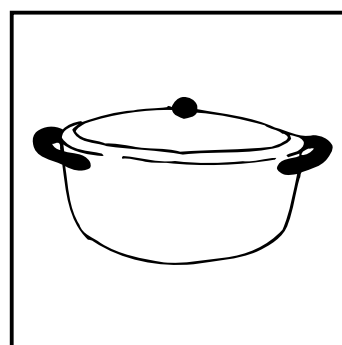
.

ね

.

の

.



ま

.

み

.

む

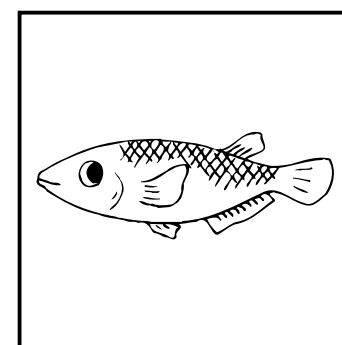
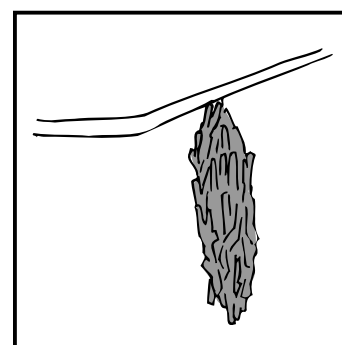
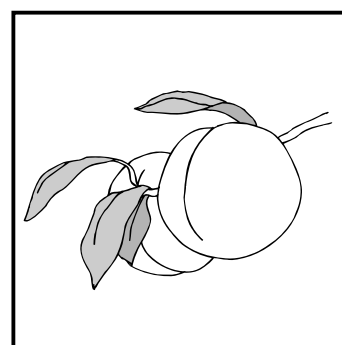
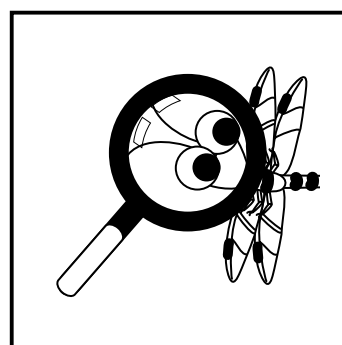
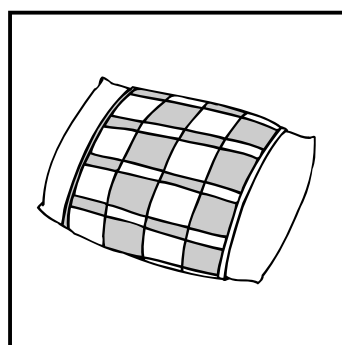
.

め

.

も

.



ら

.

り

.

る

.

れ

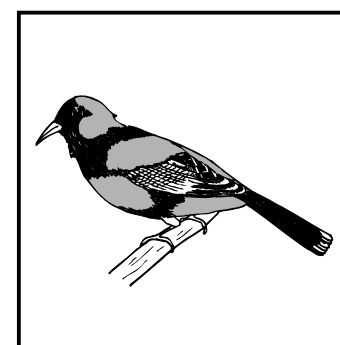
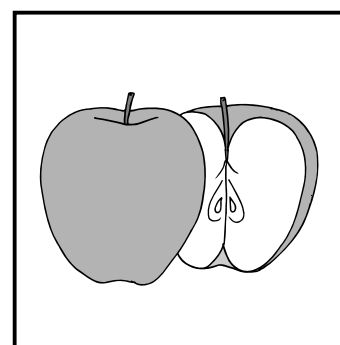
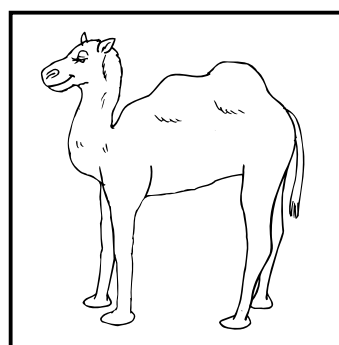
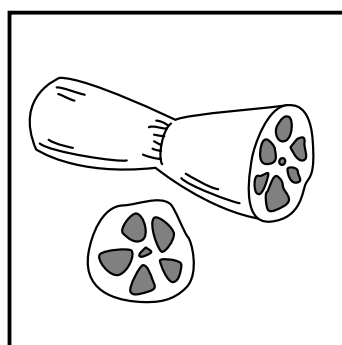
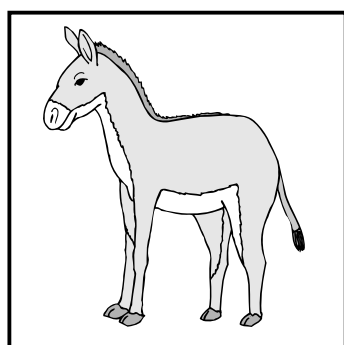
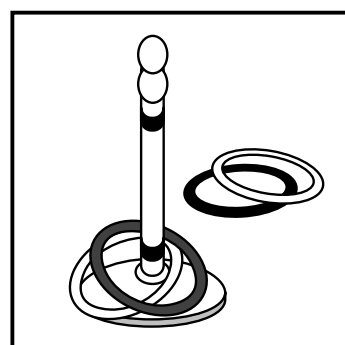
.

ろ

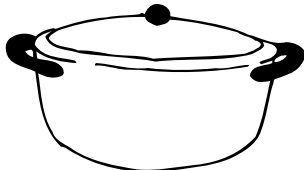
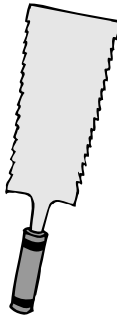
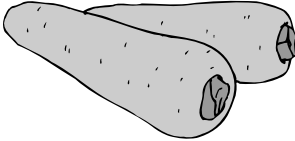
.

わ

.



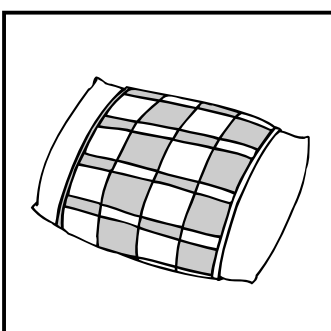
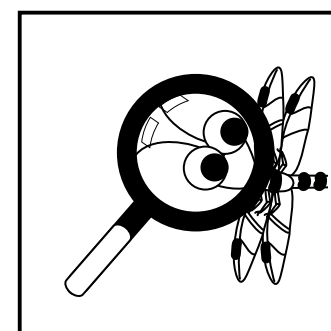
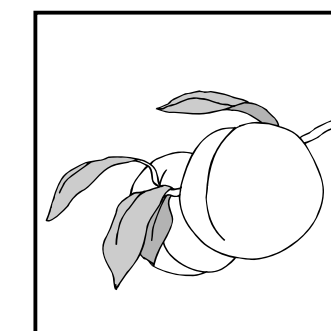
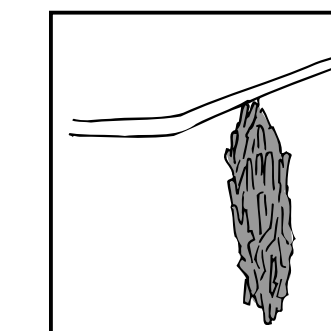
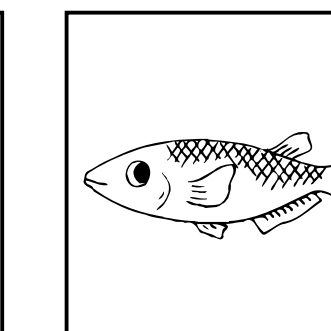
<問題> 上の段のひらがなで始まることばを下からさがして、線で結びましょう。

な	に	ぬ	ね	の
				
ねずみ	なべ	ぬりえ	のこぎり	にんじん

<指導のポイント>

ものの名前と対応させながら、ひらがな(清音)を一文字ずつしっかり読めるようにしましょう。「ぬ」と「ね」は形が似ているので、注意させましょう。

<問題> 上の段のひらがなで始まることばを下からさがして、線で結びましょう。

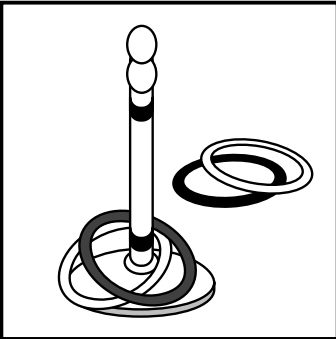
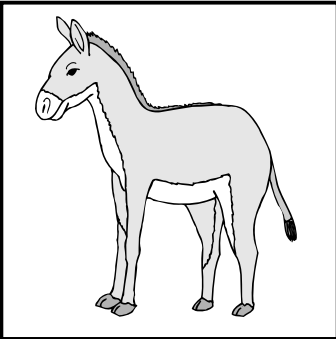
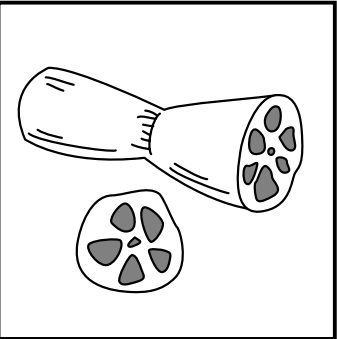
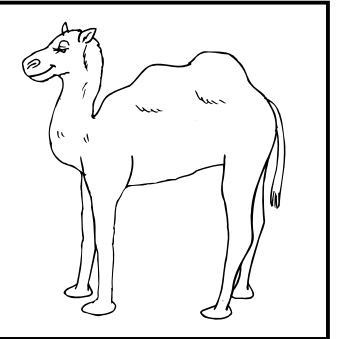
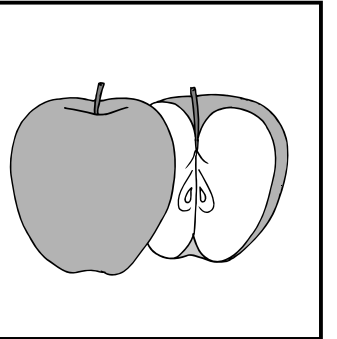
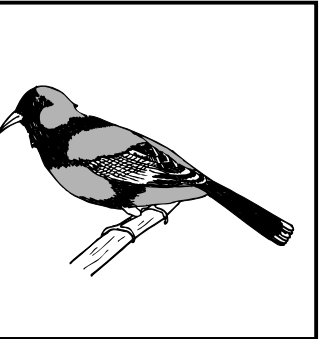
ま	み	む	め	も
↓	↘	↘	↘	↘
				
まくら	むしめがね	もも	みのむし	めだか

<指導のポイント>

ものの名前と対応させながら、ひらがな(清音)を一文字ずつしっかり読めるようにしましょう。この他にも、「で始まることば」をさがしてみるとよいでしょう。(例：まり、みず、むね、め、もうふ)

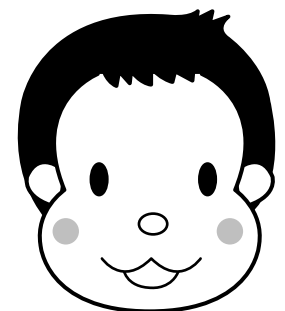
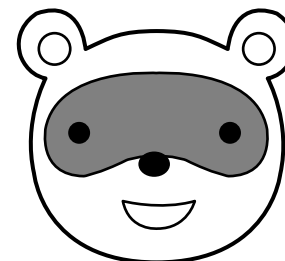
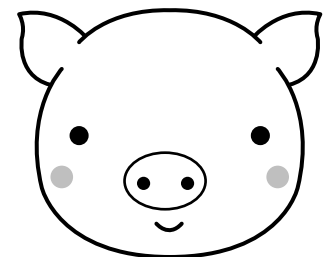
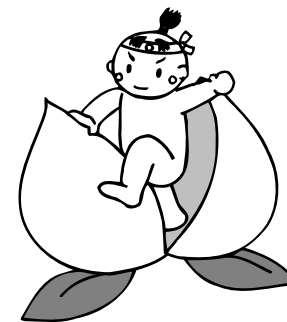
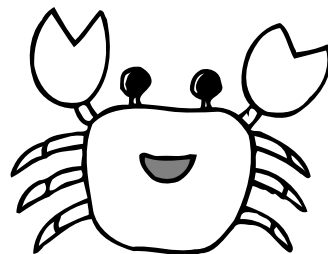
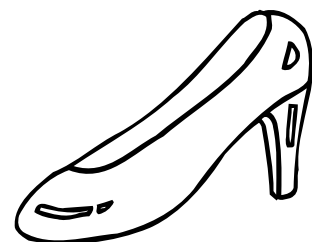
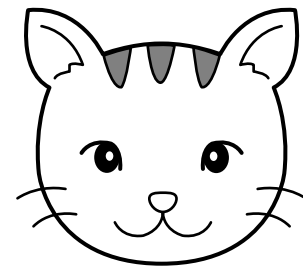
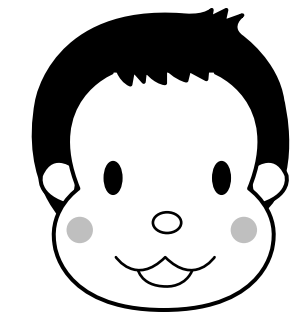
<問題> 上の段のひらがなで始まることばを下からさがして、線で結びましょう。

ら	り	る	れ	ろ	わ
---	---	---	---	---	---

					
わなげ	ろば	れんこん	らくだ	りんご	るりかけす

<指導のポイント>

「る」で始まることばはあまりないので、ここでは「るりかけす」をとりあげています。「るりかけす」は、翼と尾が濃い青色（るり色）をしたからすの仲間の鳥です。しりとりなどに役に立つので、覚えておくとよいでしょう。



は	ば
ひ	び
ふ	ぶ
へ	べ
ほ	ぼ

び
わ

.

ば
ら

.

か
ぶ
と
む
し

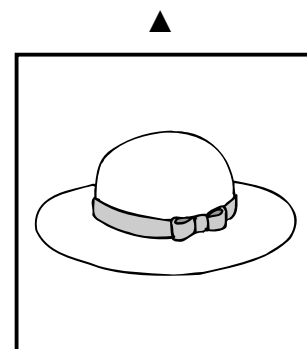
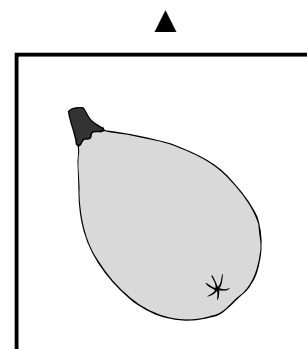
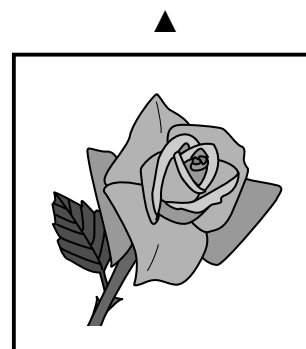
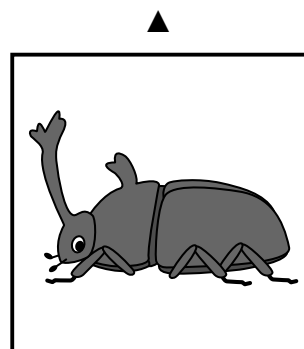
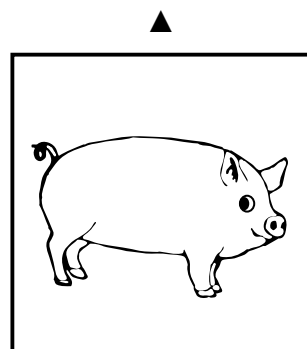
.

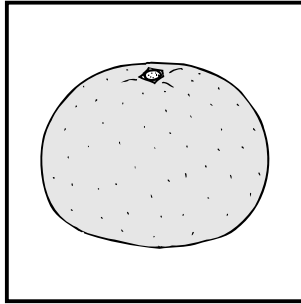
ぼ
う
し

.

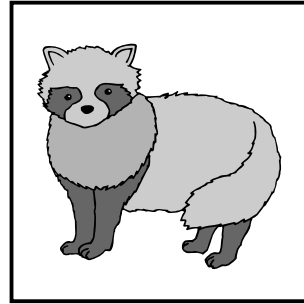
ぶ
た

.

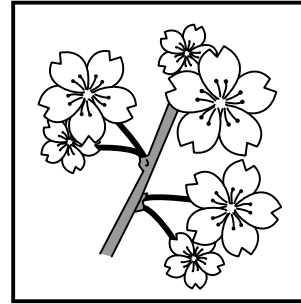




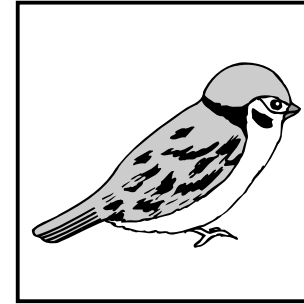
●



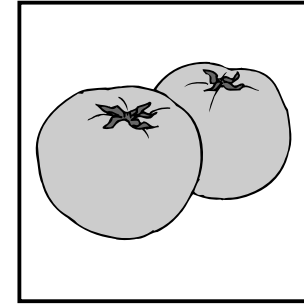
●



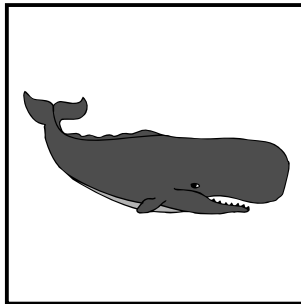
●



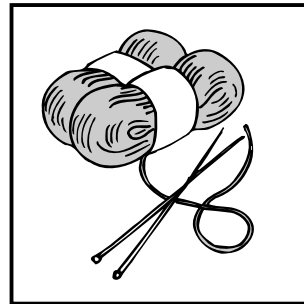
●



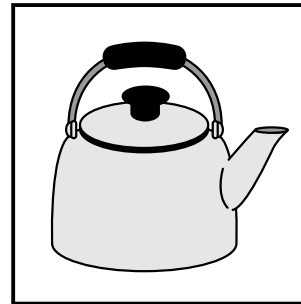
●



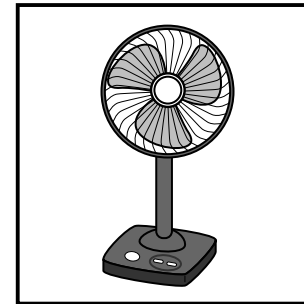
▲



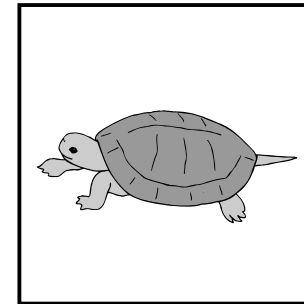
▲



▲



▲

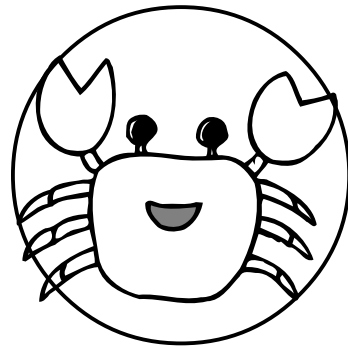
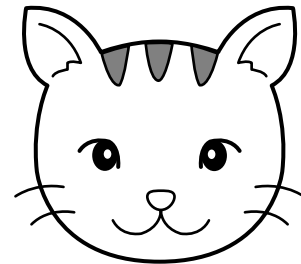


▲

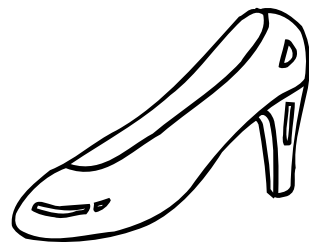
<問題> (左)「さるかに合戦」のお話に出てくるものに、 をつけましょう。(2つ)
(右)「ももたろう」のお話に出てくるものに、 をつけましょう。(2つ)



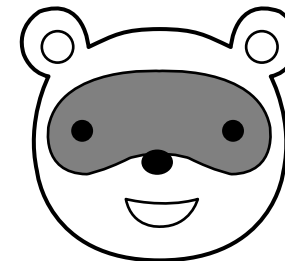
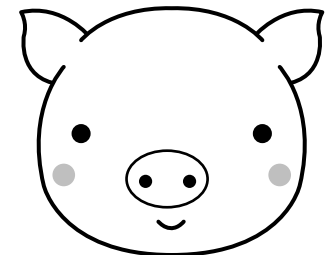
さる



かに



ももたろう



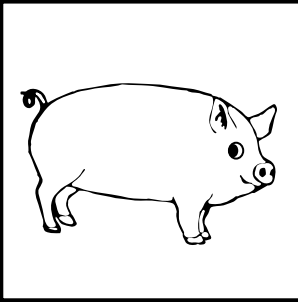
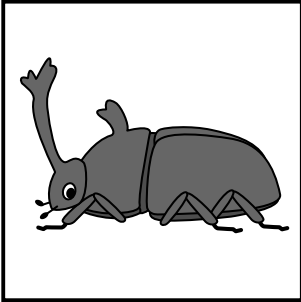
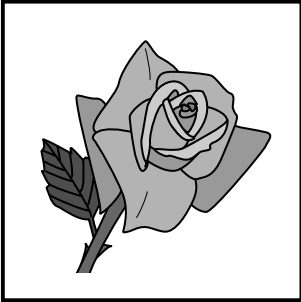
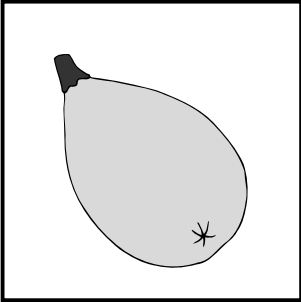
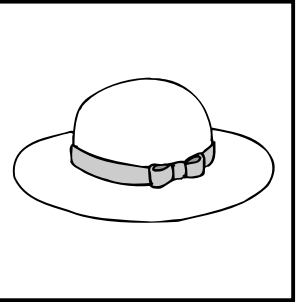
さる

<指導のポイント>

「ももたろう」や「さるかに合戦」のお話をよく知らないようでしたら、先に絵本などでお話を読み聞かせてあげて下さい。その後で、お話に出てくるものに をつけさせましょう。問題の他にもどんなものが出てきたか、お子さんに答えさせてみるとよいでしょう。

<問題> (左のひらがなと上の段のことばを1つずつ読んで復唱させて下さい。) ことばを読んで、あう絵と線で結びましょう。

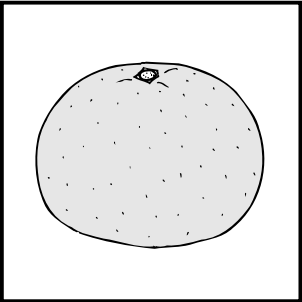
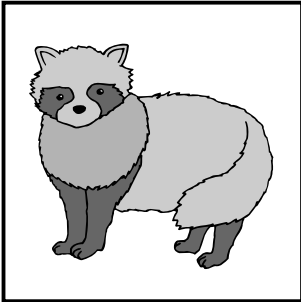
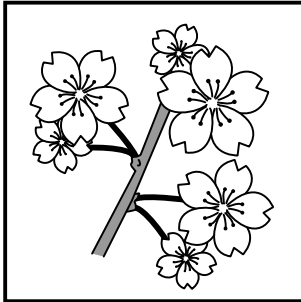
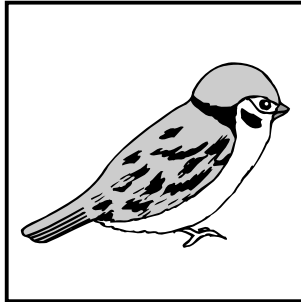
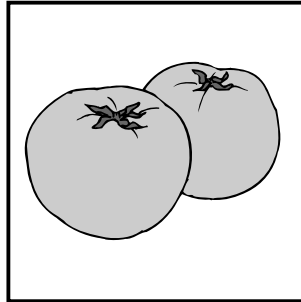
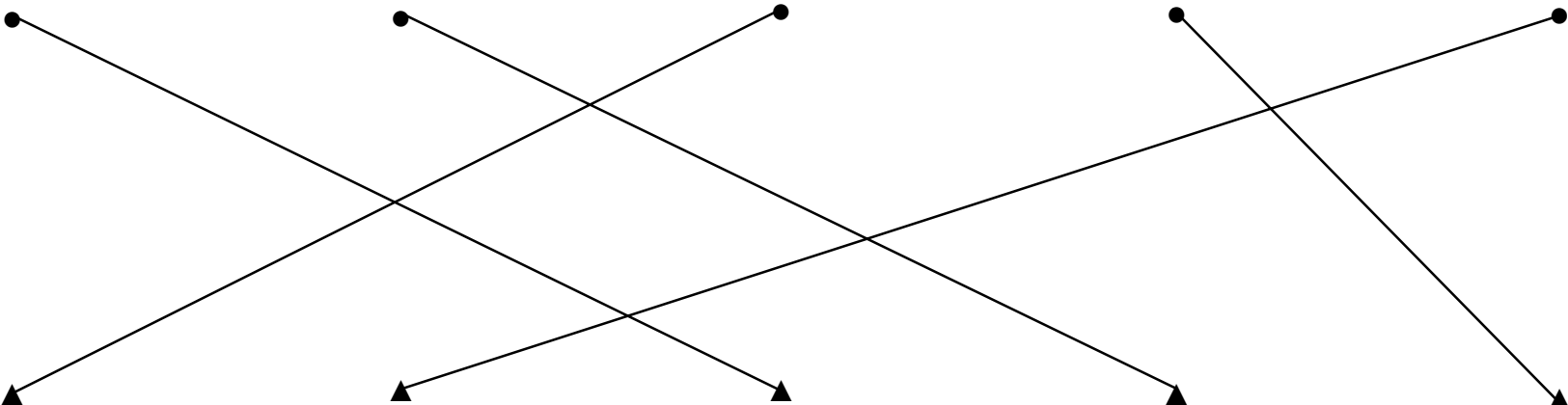
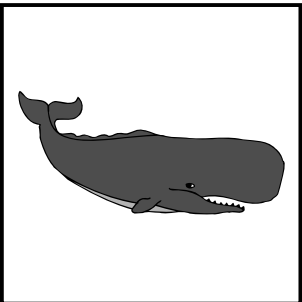
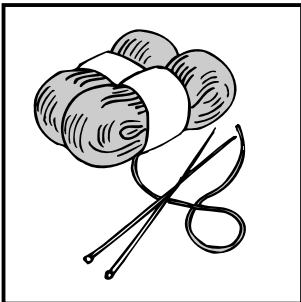
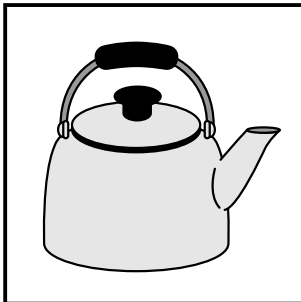
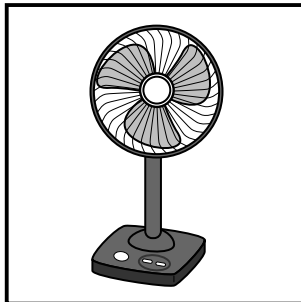
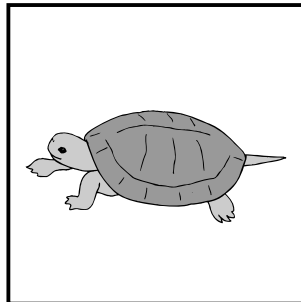
は	ば	び	ば	かぶとむし	ぼうし	ぶ
ひ	び	わ	ら			た
ふ	ぶ					
へ	べ					
ほ	ぼ					

				
--	---	---	---	---

<指導のポイント>

「ば」「び」「ぶ」「べ」「ぼ」は「は」「ひ」「ふ」「へ」「ほ」に「ゝ」がついたものであることを、教えてあげて下さい。上の段のことばを1つずつ読んであげて、お子さんに復唱させてから、あう絵と結ぶとよいでしょう。このほかにも、「ば」「び」「ぶ」「べ」「ぼ」を含むことばをさがしてみましょう。

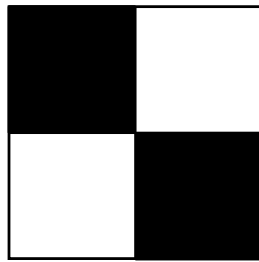
<問題> 同じ音で終わるものを線で結びましょう。

みかん	たぬき	さくら	すずめ	トマト
				
				
				
くじら	けいと	やかん	せんぱうき	かめ

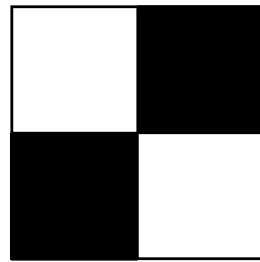
<指導のポイント>

一つずつ、名前と最後の音を確認しながら、 をつけさせていくとよいでしょう。また、先にことばを一つ言って、おわりの音がそれと同じものを言わせる「同尾語ゲーム」もやってみて下さい。

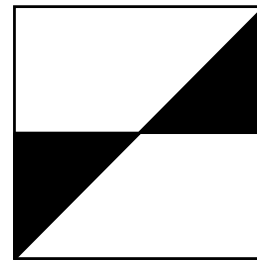
(例: 「さい」(たい) 「やかん」(ライオン)・・・)



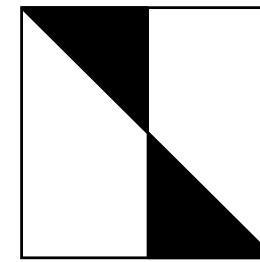
•



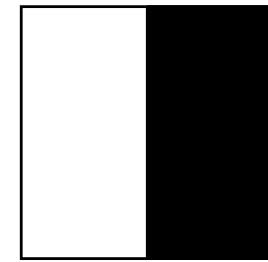
•



•

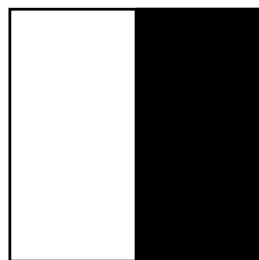


•

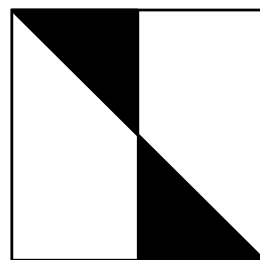


•

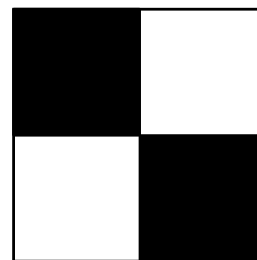
▲



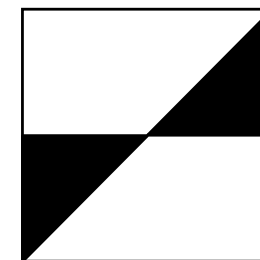
▲



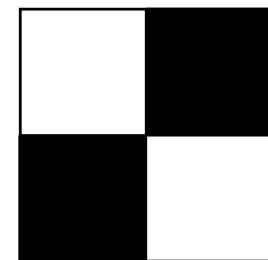
▲

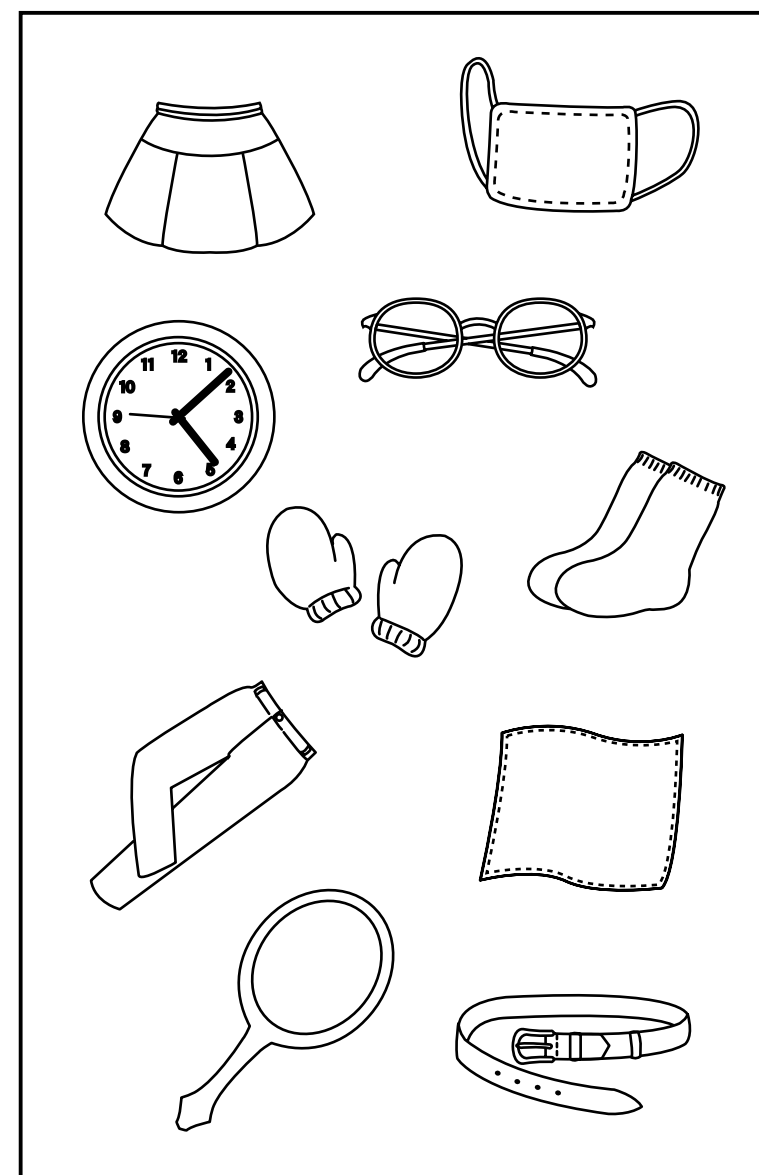
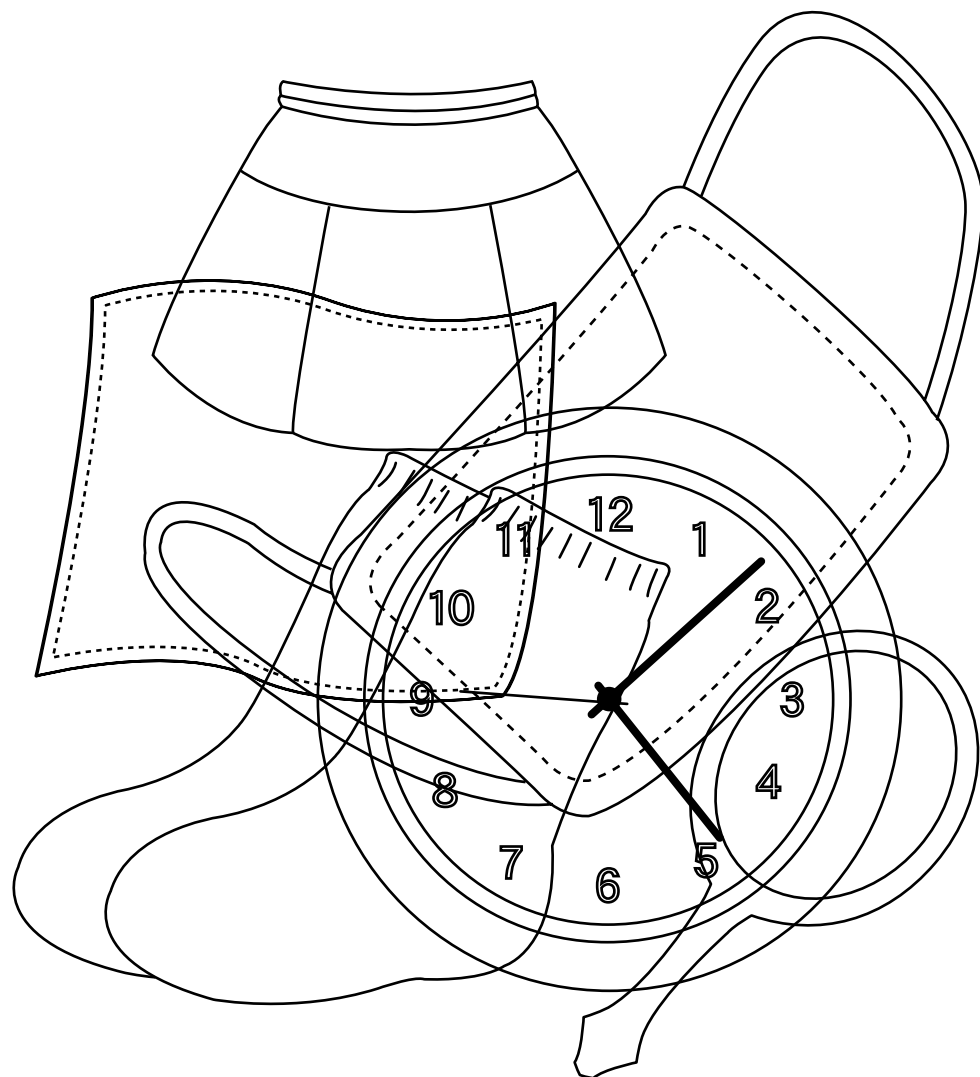


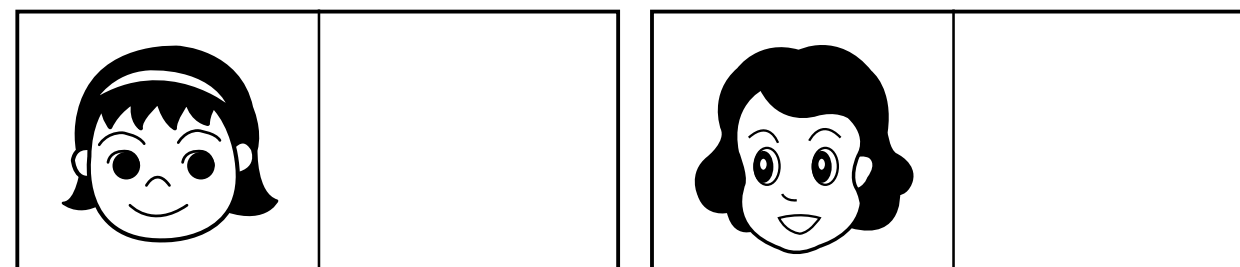
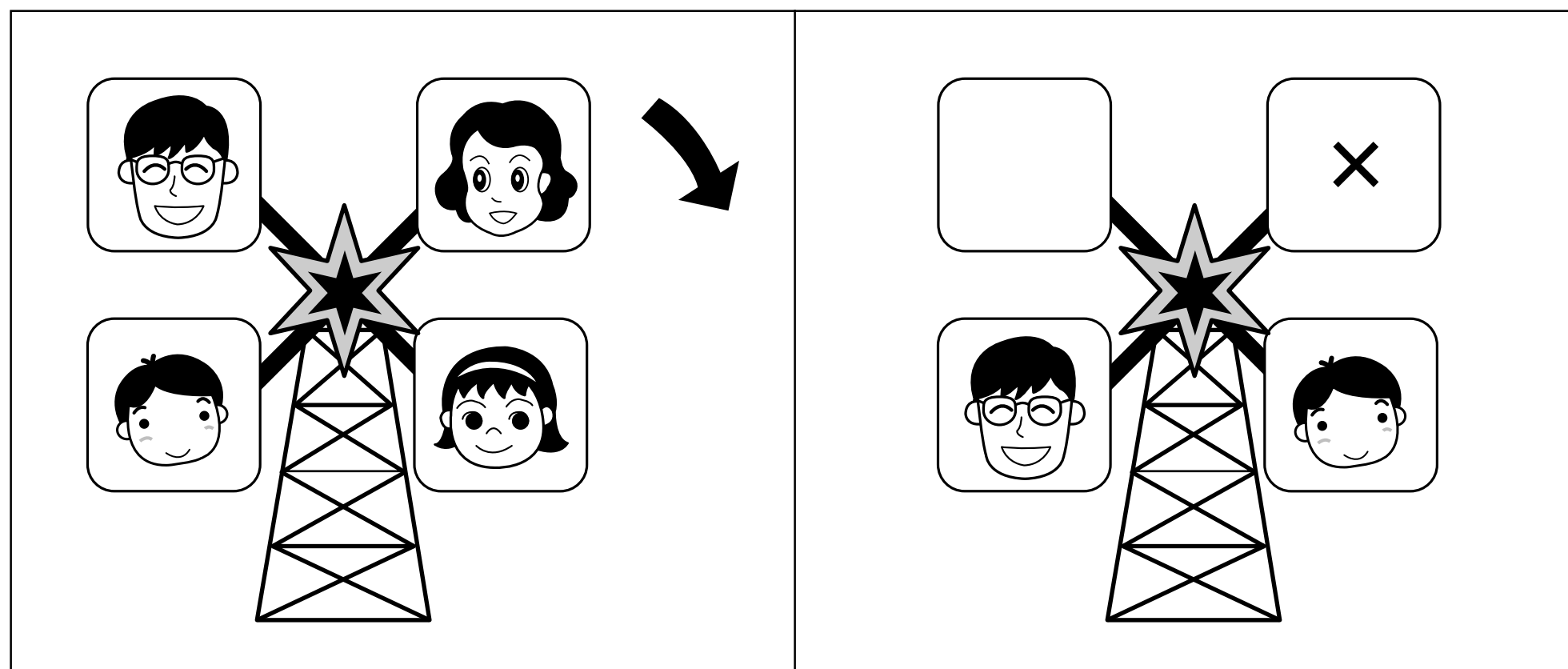
▲



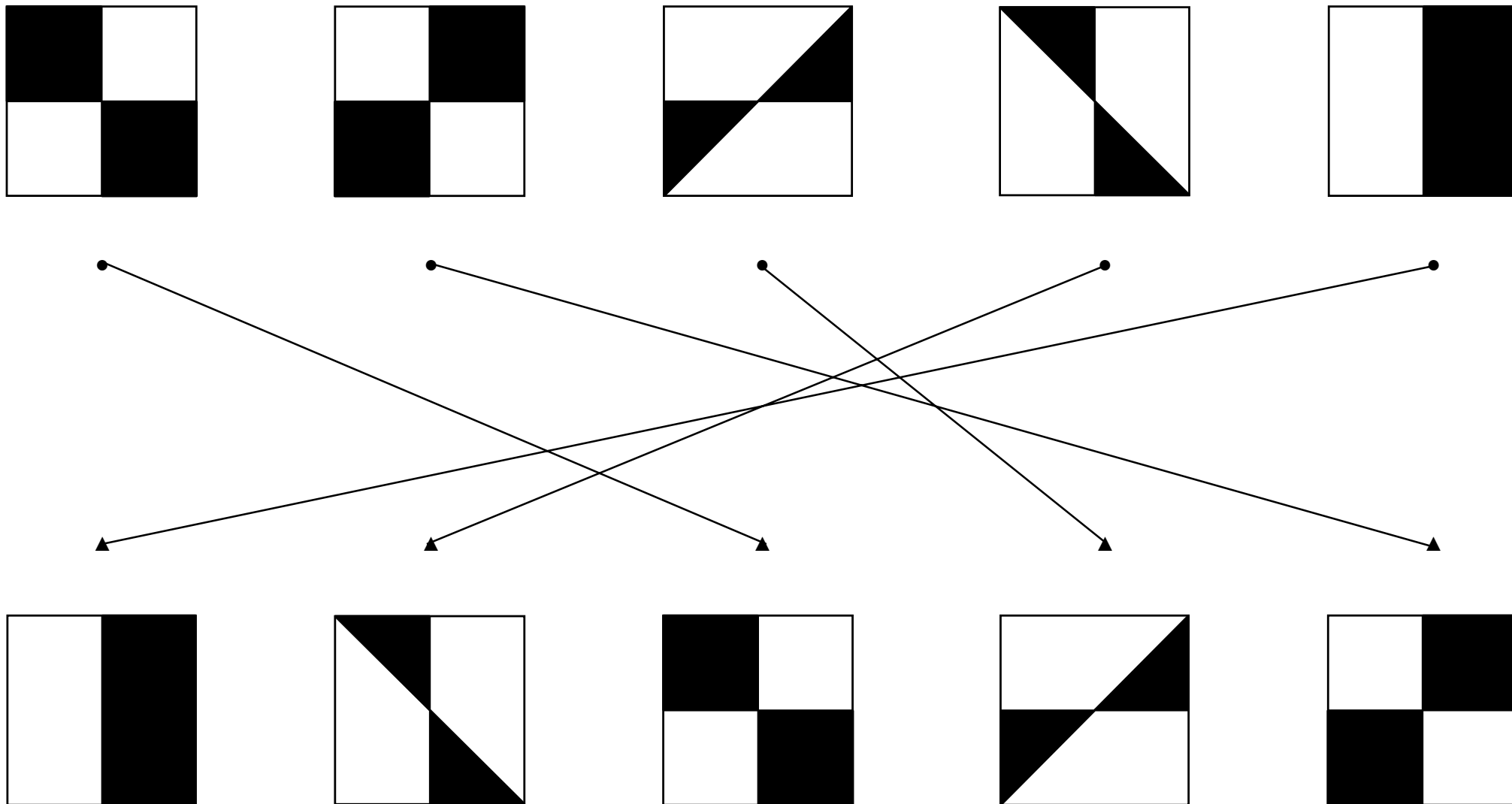
▲







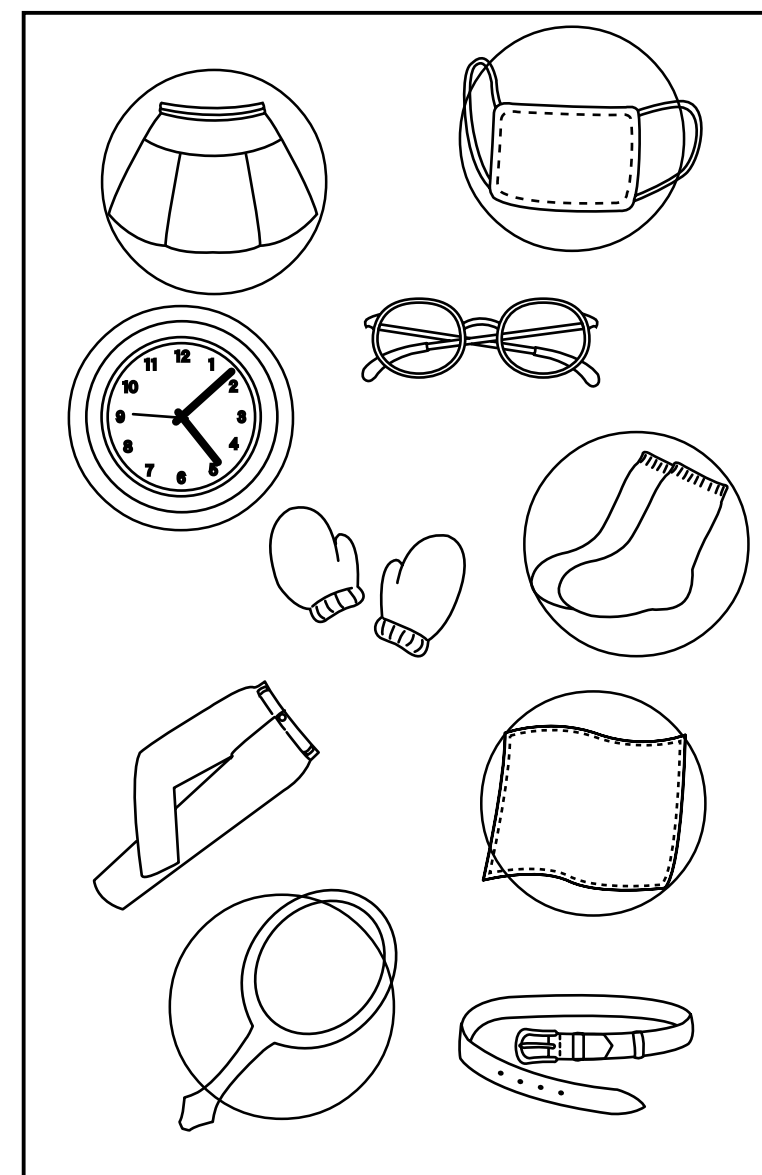
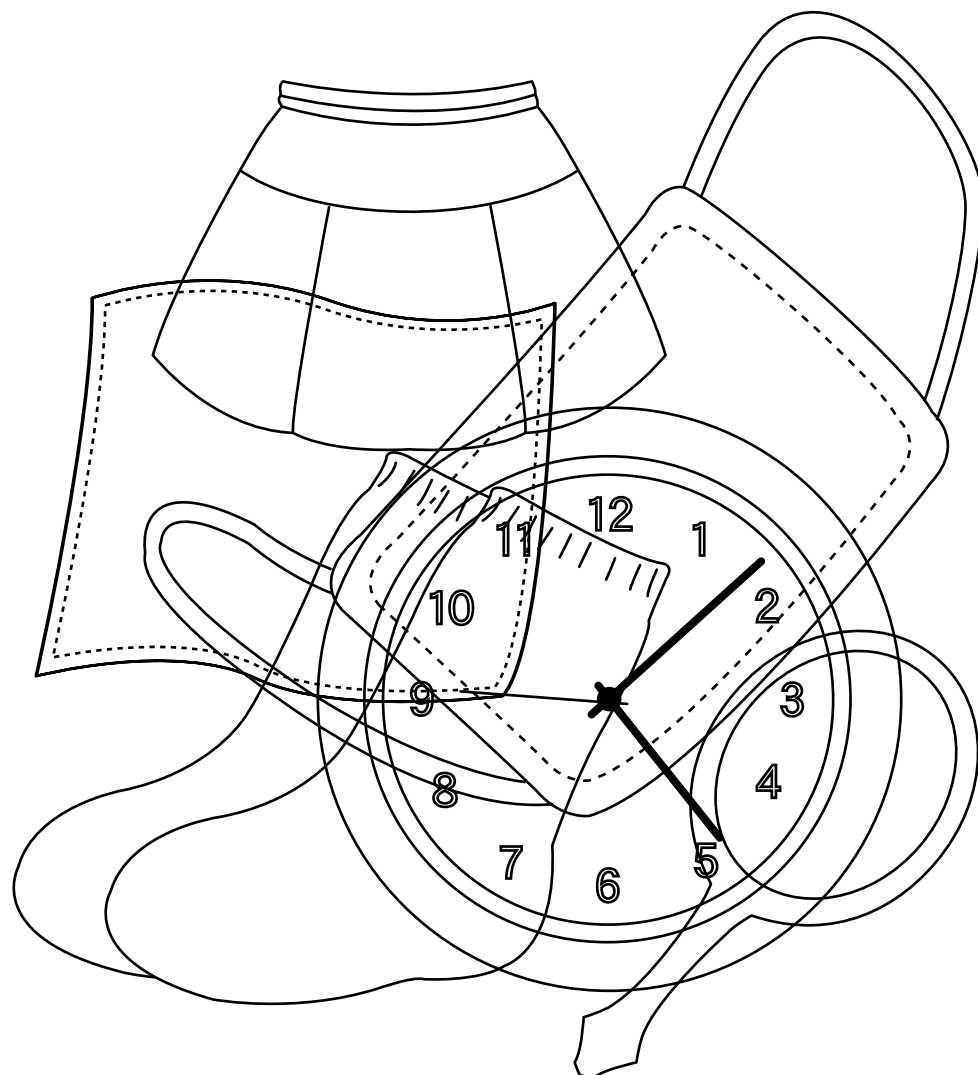
<問題> 同じものをみつけて、線でむすびましょう。



<指導のポイント>

同じものを見つけるには、一つずつ形や色を見比べることが大切です。あわてずに、集中してしっかりと取り組ませましょう。絵だけでなく幾何的な図形でも練習して慣れておきましょう。

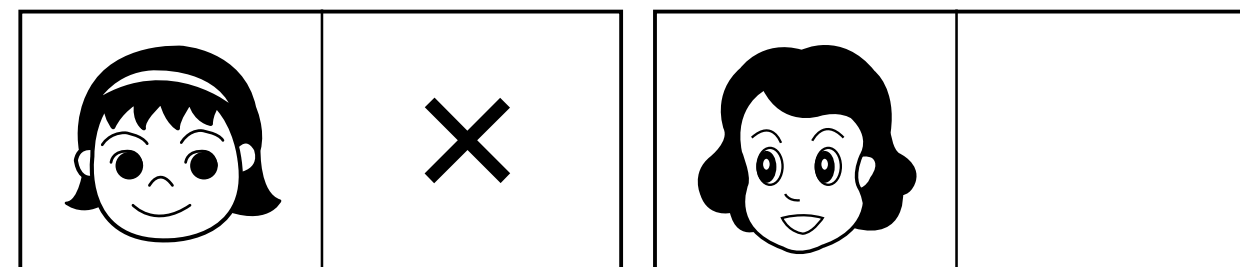
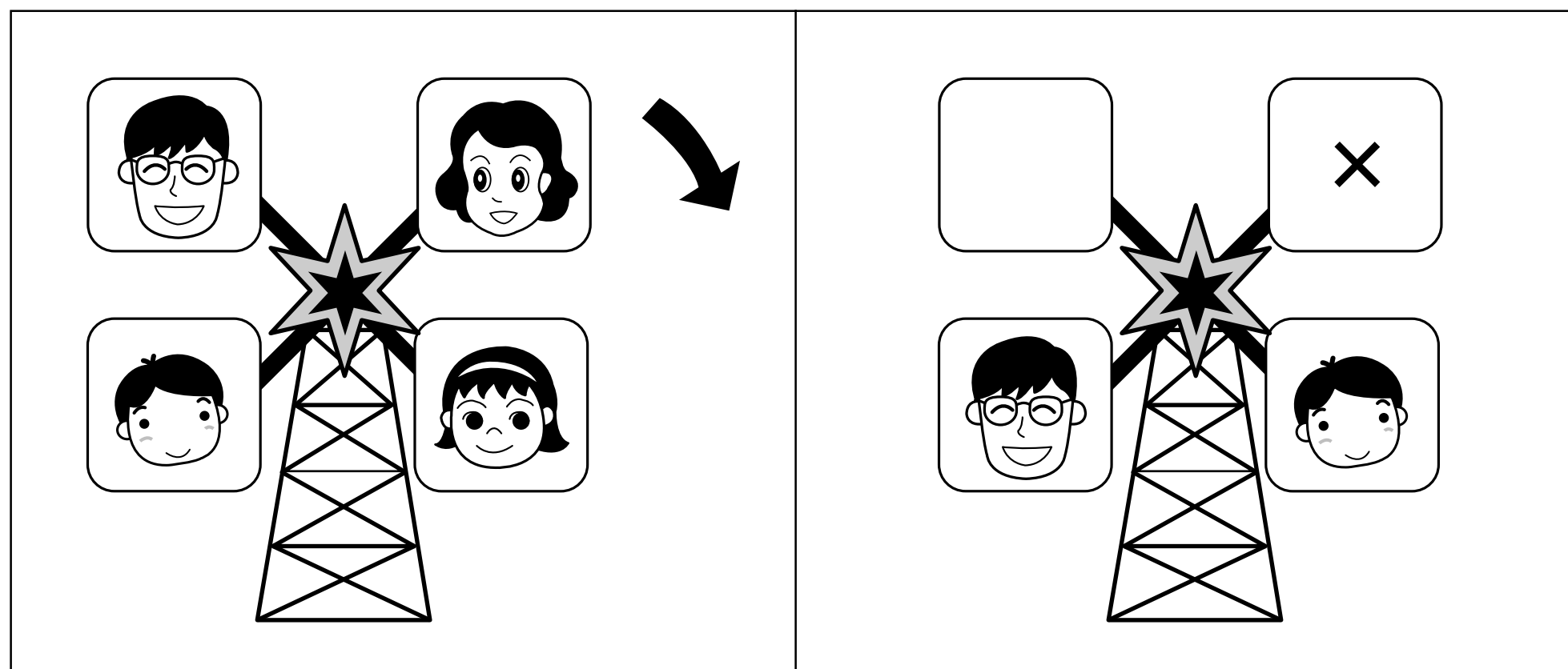
<問題> 左の絵の中にあるものに、 をつけましょう。



<指導のポイント>

まず、左の絵をよく観察させましょう。見つけた形を指でなぞったり、別々の色で縁どりさせて、右側の絵に をつけさせるとよいでしょう。

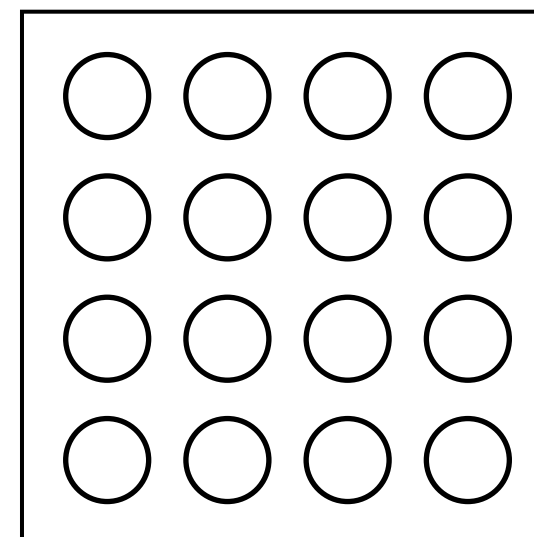
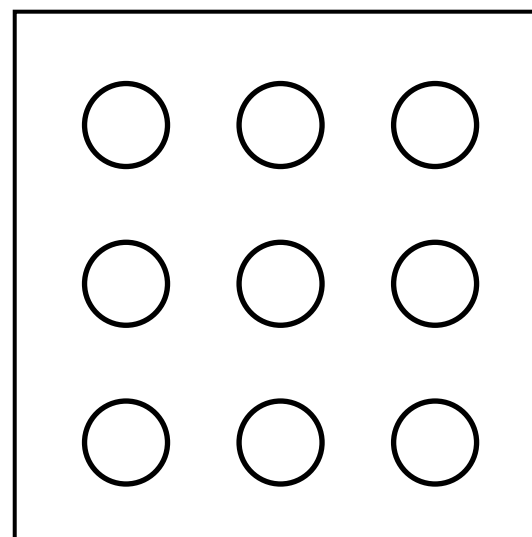
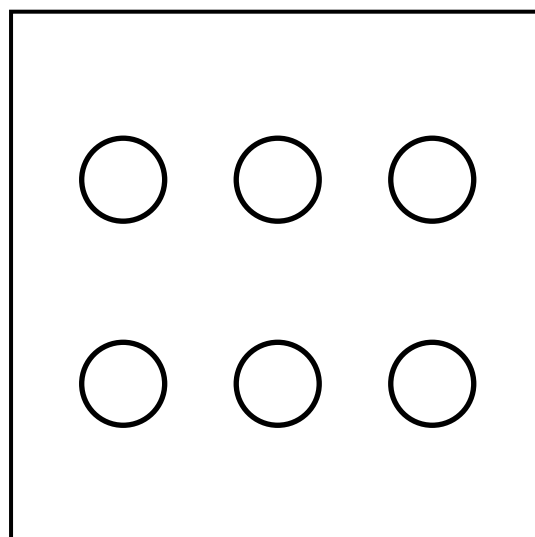
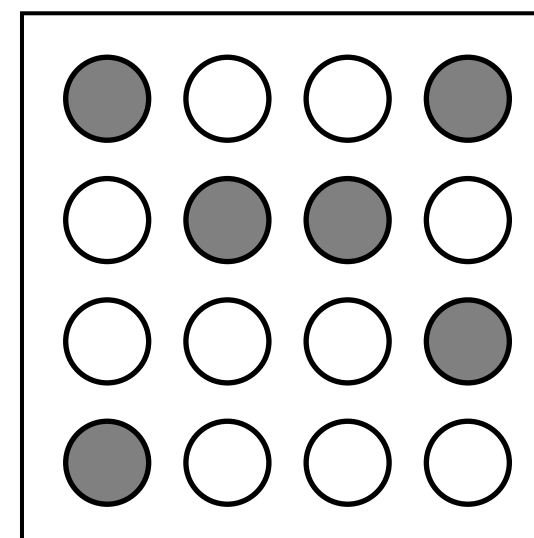
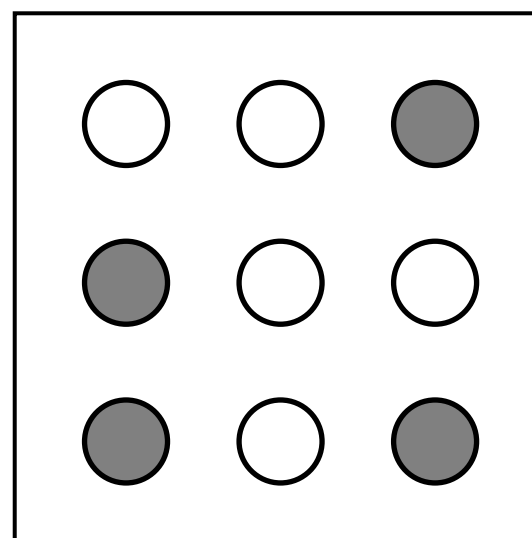
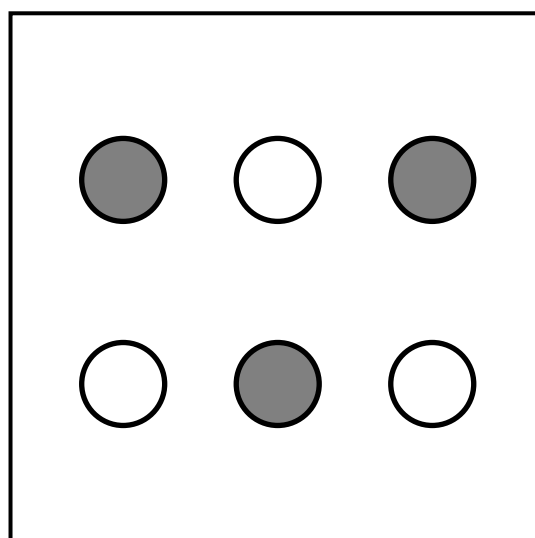
<問題> 左側の観覧車が回って、右のようになりました。他の人たちがいる場所の印を、かきましょう。

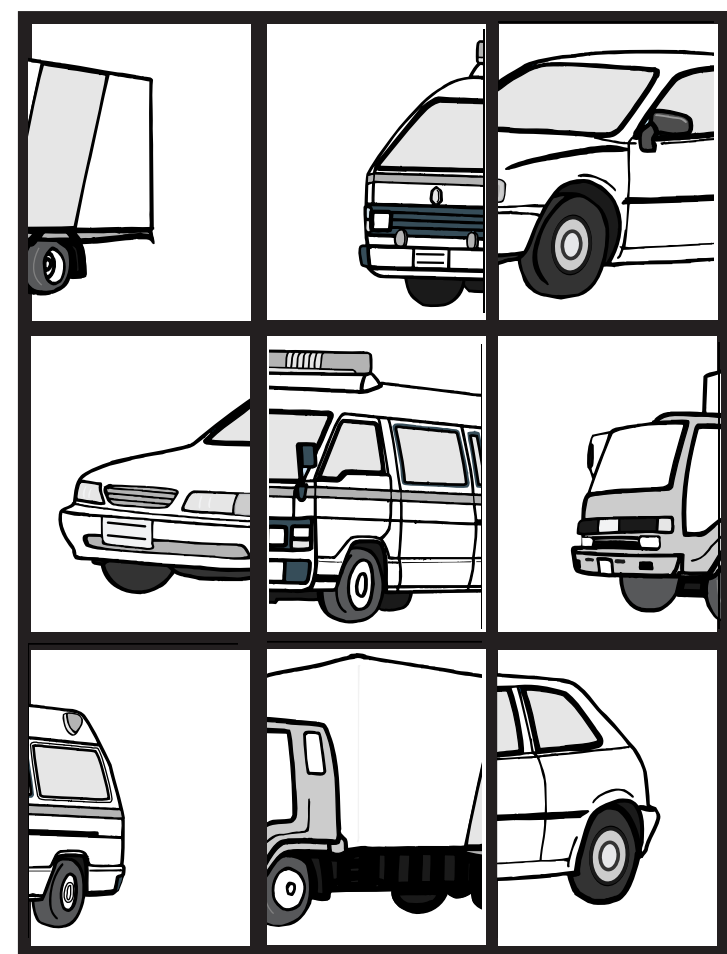
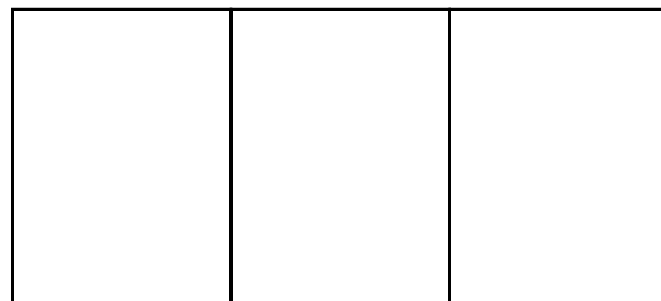
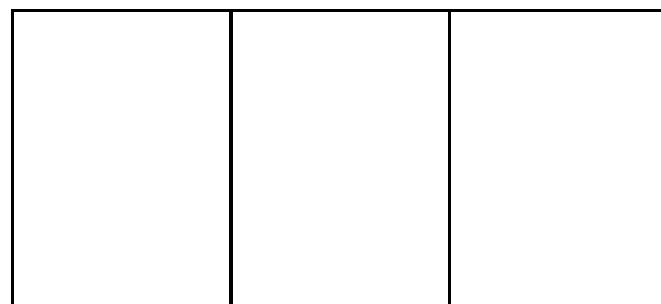
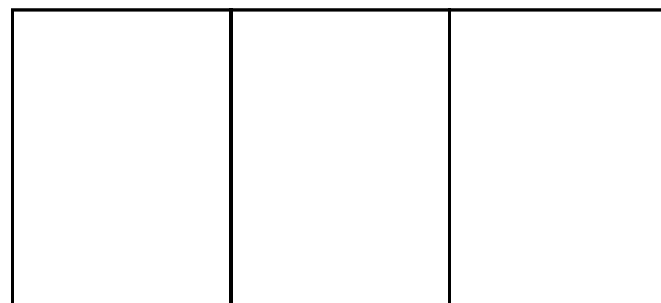


<指導のポイント>

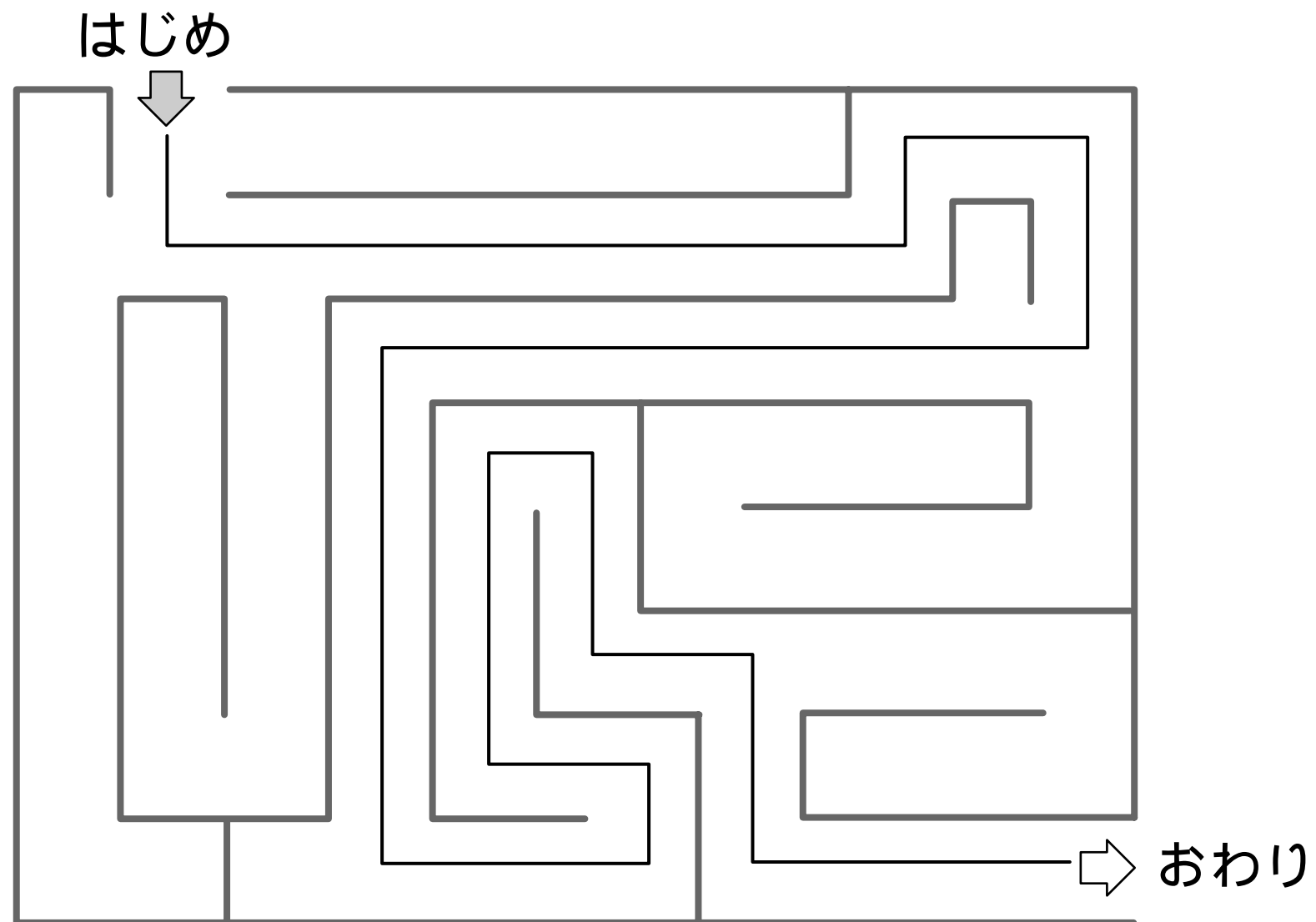
観覧車は回っても人間たちの位置関係は変わらない、ということがポイントです。できれば、水遊び用の観覧車のおもちゃや風車などで、実際に目で確認させてあげるとよいでしょう。







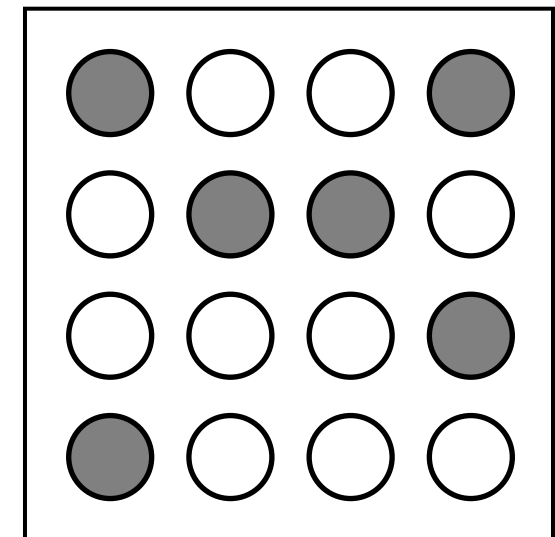
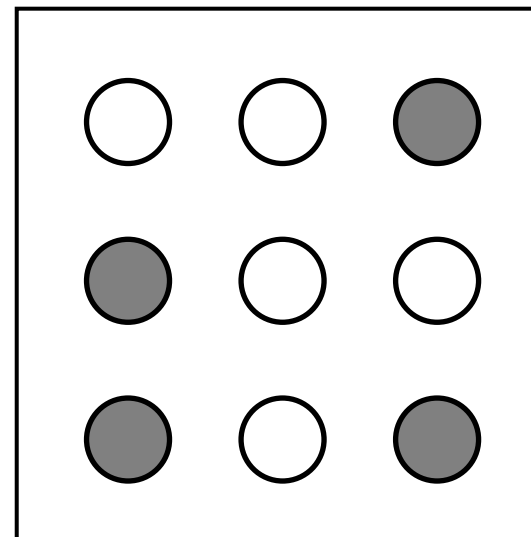
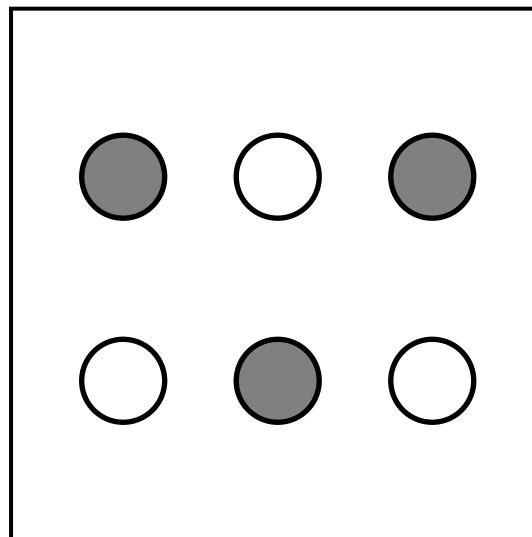
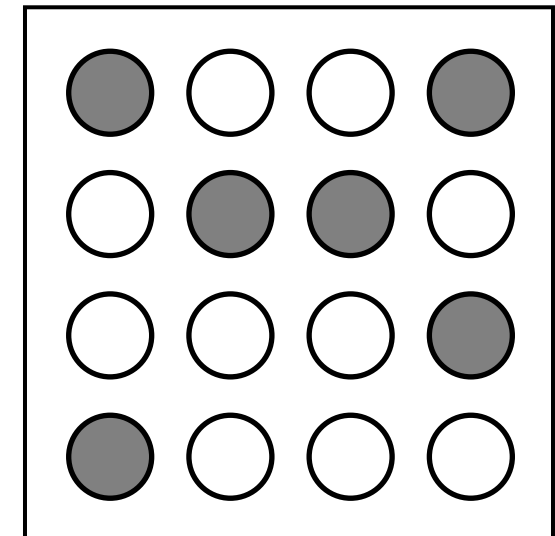
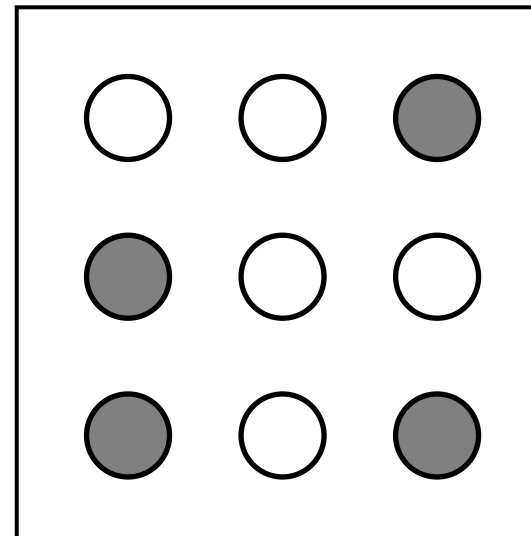
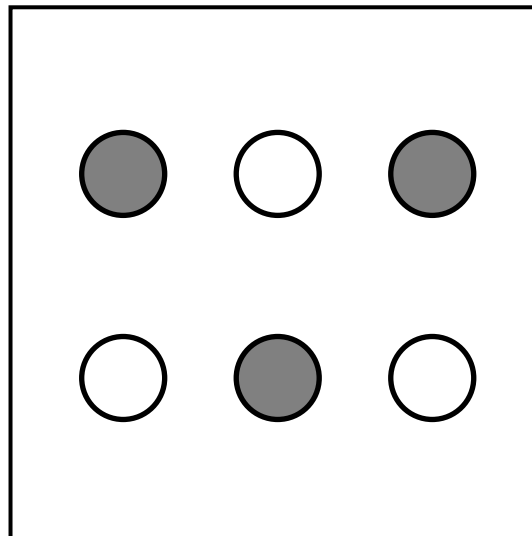
<問題> 「はじめ (➡)」から「おわり (⇨)」まで、道に線をひきましょう。



<指導のポイント>

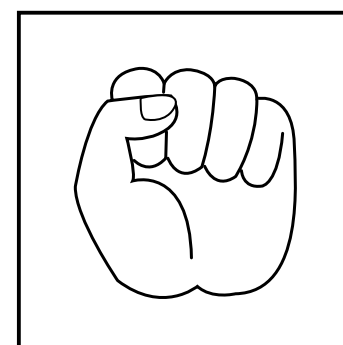
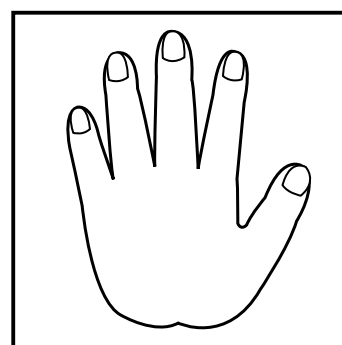
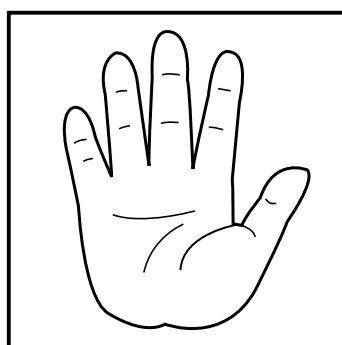
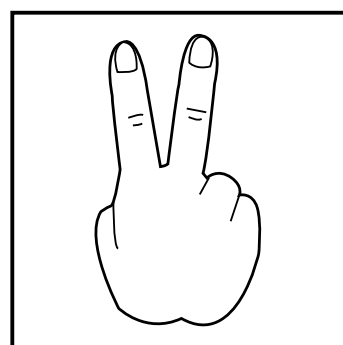
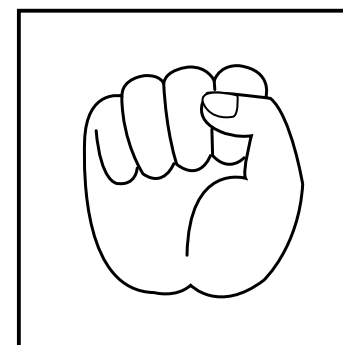
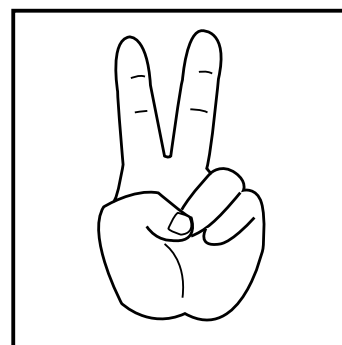
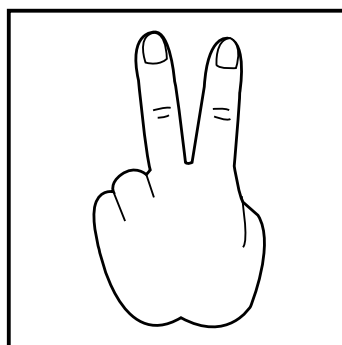
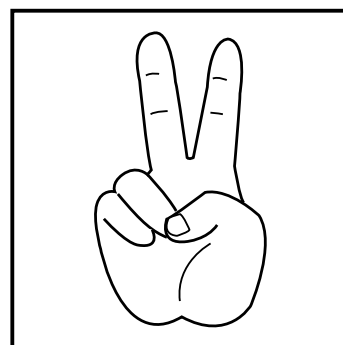
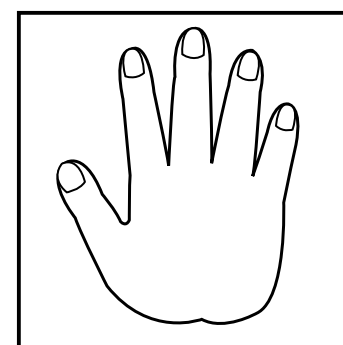
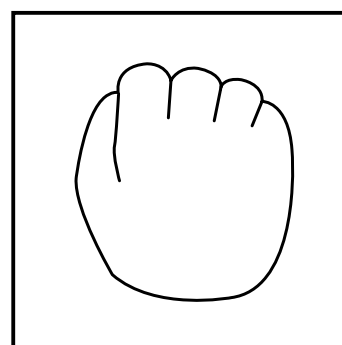
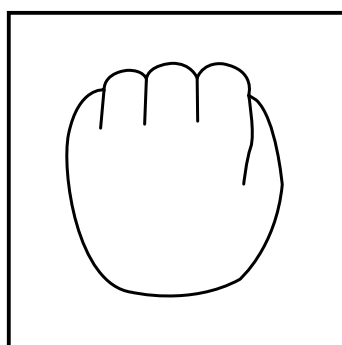
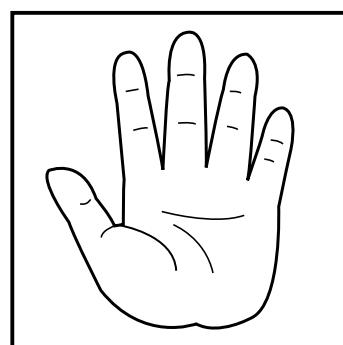
線をひく時は、壁にぶつからないようにできるだけ道のまん中にひきましょう。迷路の問題は、運筆力と推理力の両方を養うのに役立ちます。楽しく取り組ませてあげてください。

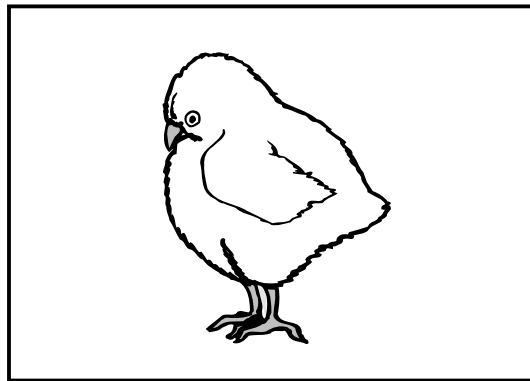
<問題> 上のお手本と同じになるように、 を黒くぬりましょう。



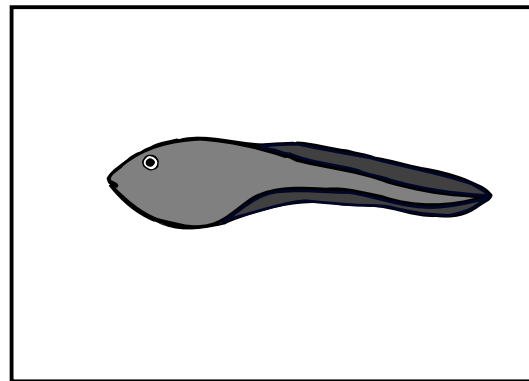
<指導のポイント>

左上の から1つずつ上下を見比べながら、色をぬりましょう。一通り色をぬり終わったら、もう一度見直させて下さい。

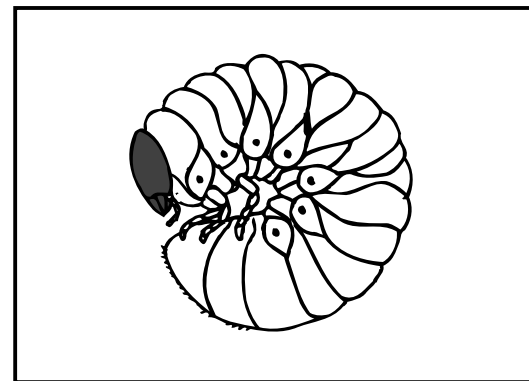




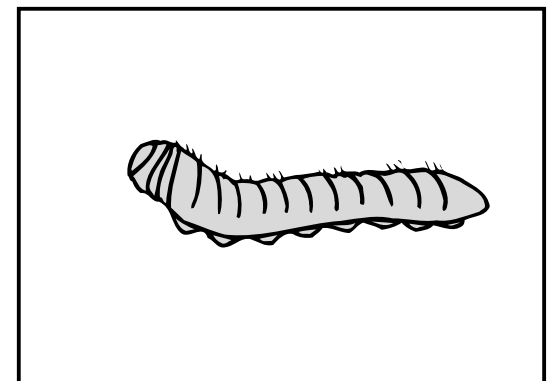
●



●

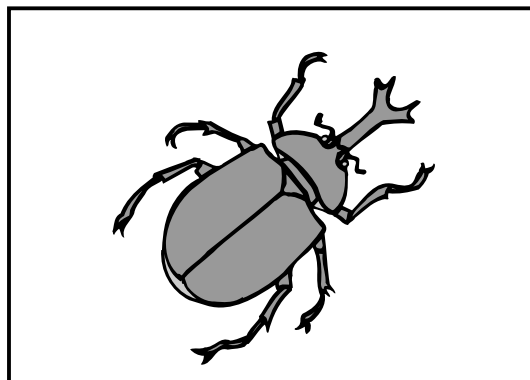


●

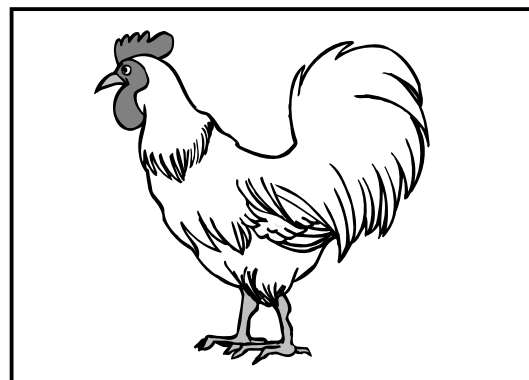


●

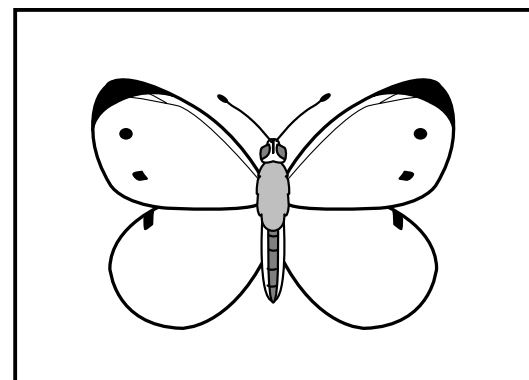
▲



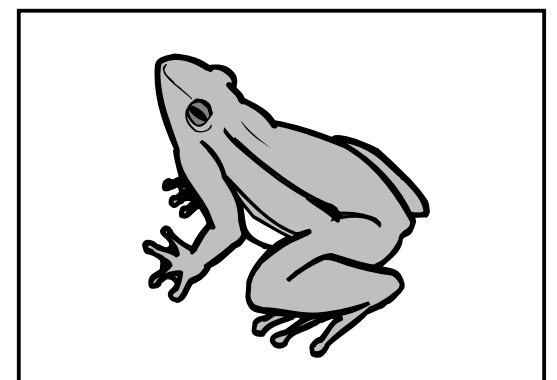
▲

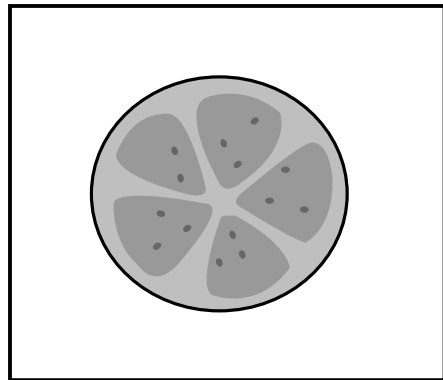


▲

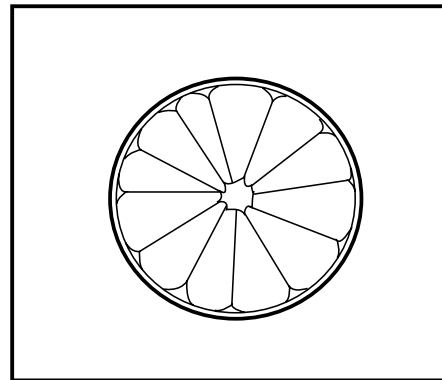


▲

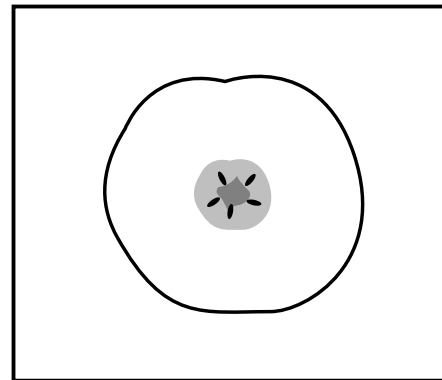




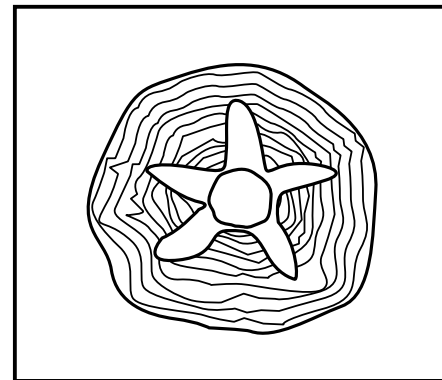
●



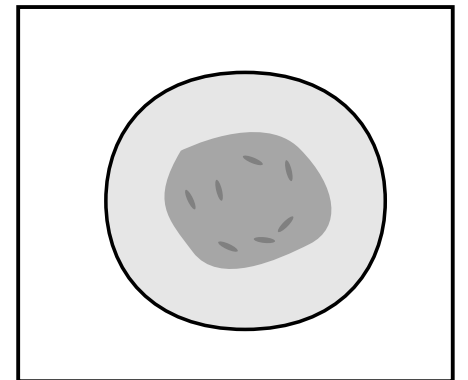
●



●

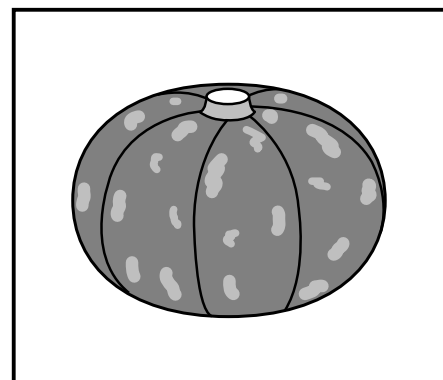


●

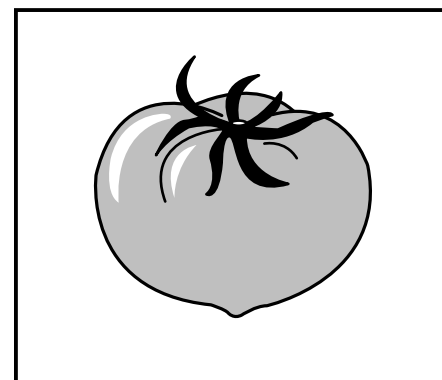


●

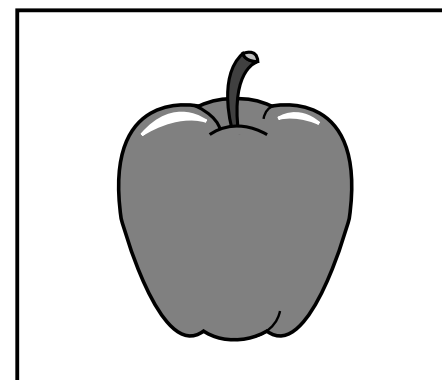
▲



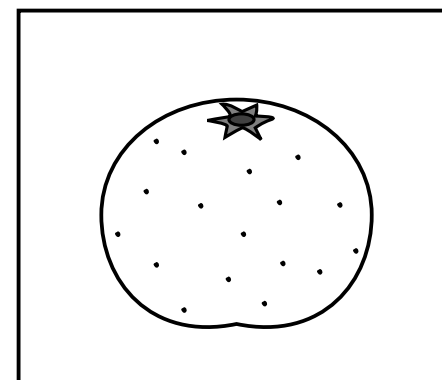
▲



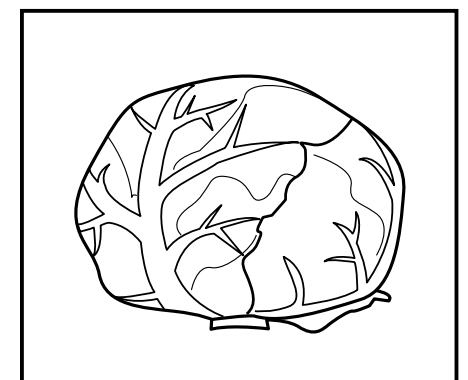
▲



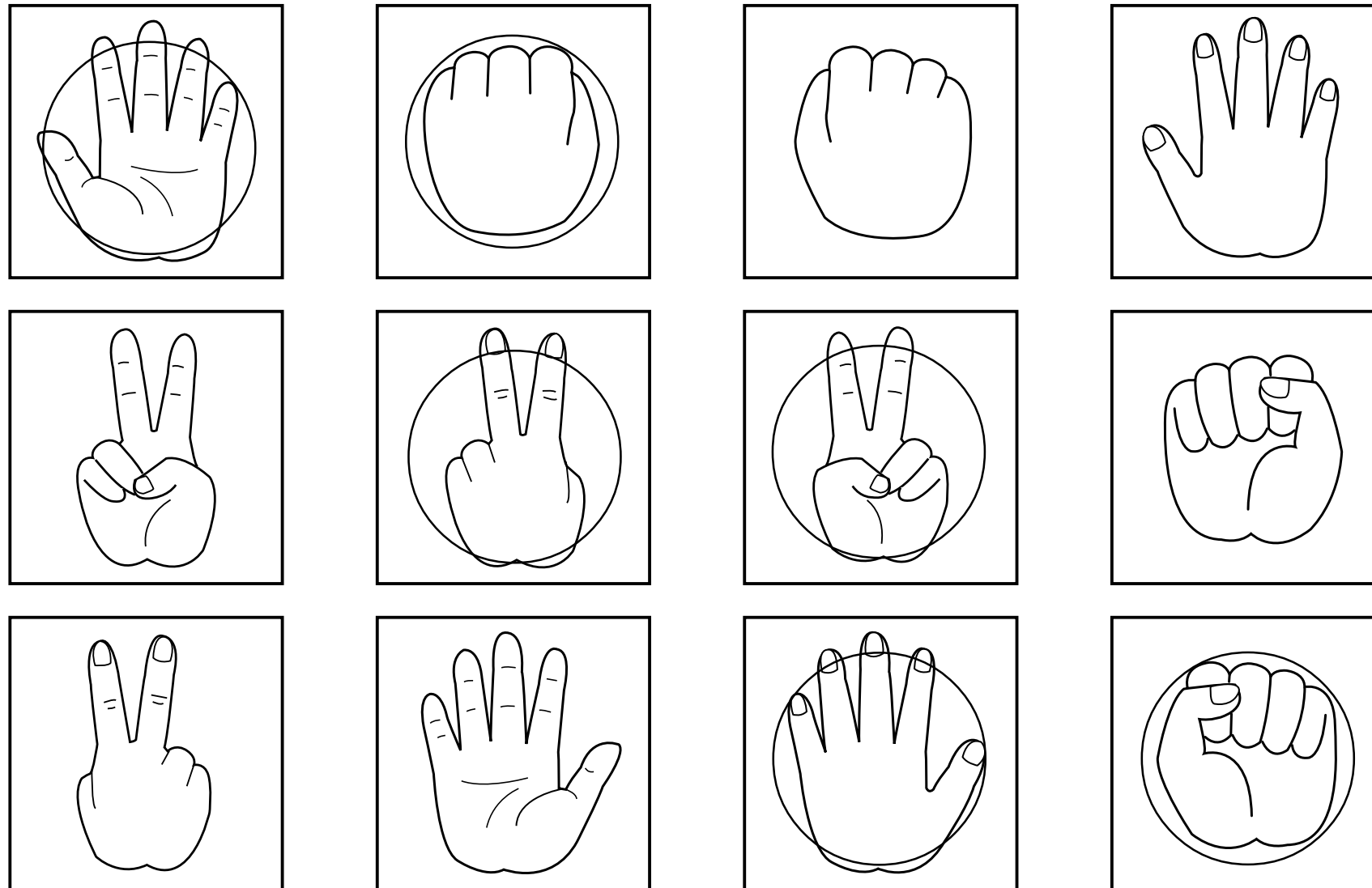
▲



▲



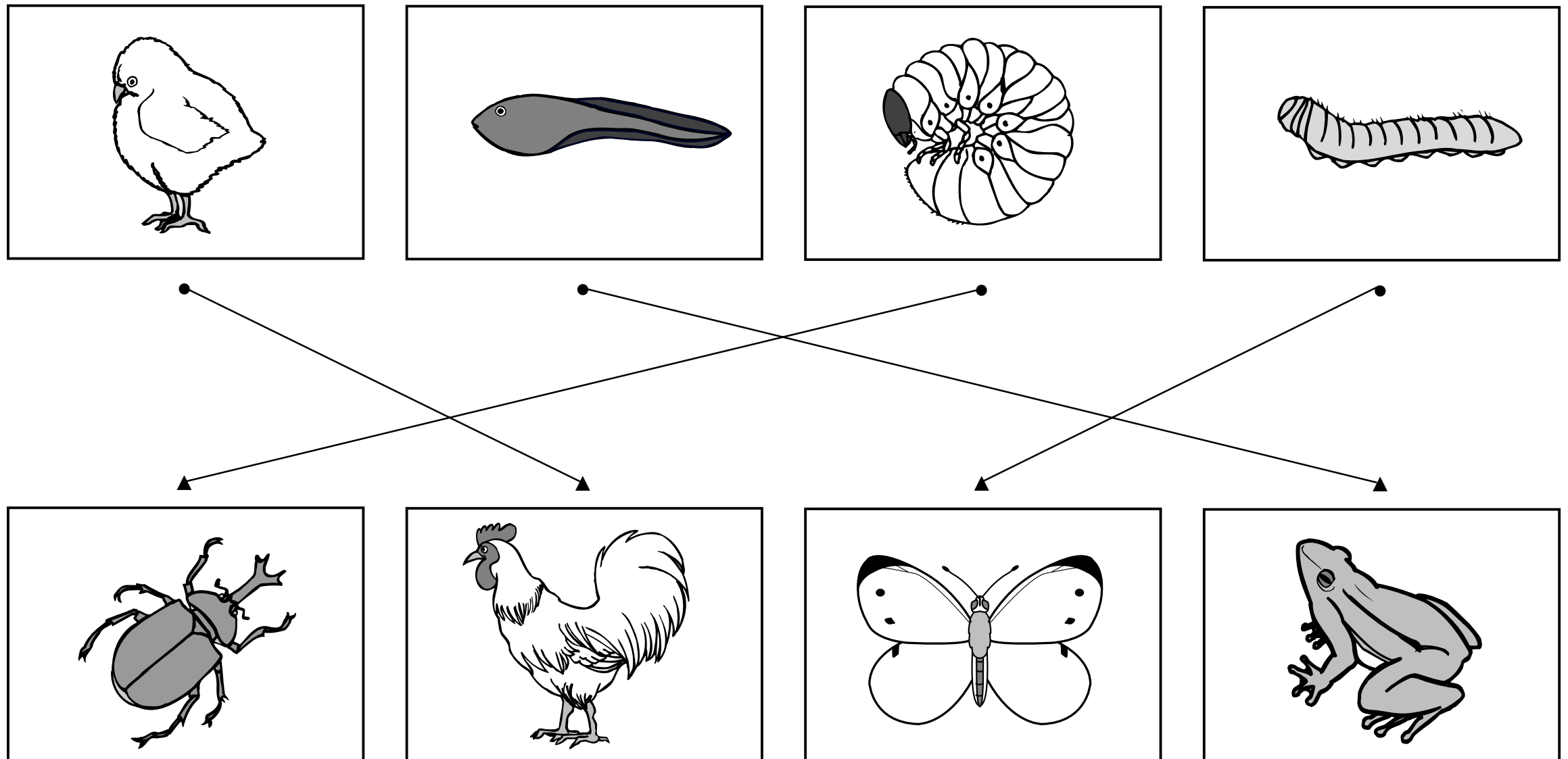
<問題> 左手に、 をつけましょう。



<指導のポイント>

実際に自分の手で絵と同じ形を作って、左手か右手かを確認させるとよいでしょう。左右の区別は、ふだんの生活でも大切なことです。意識して、お子さんに声をかけるようにしてあげましょう。

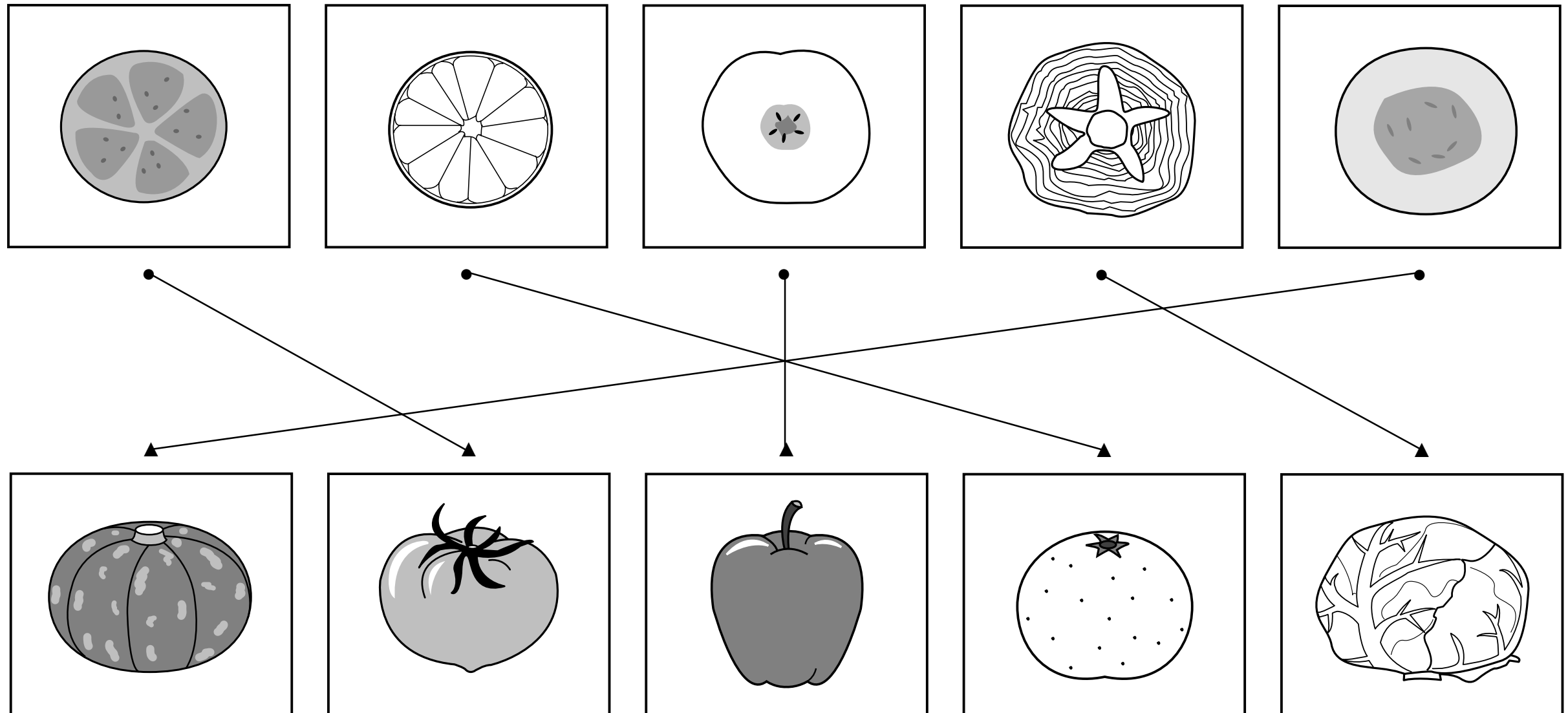
<問題> 上の絵は、どの動物の子どもでしょうか。線で結びましょう。



<指導のポイント>

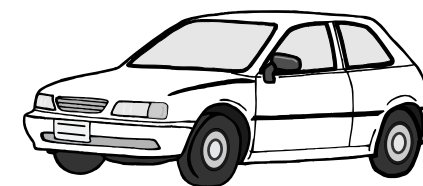
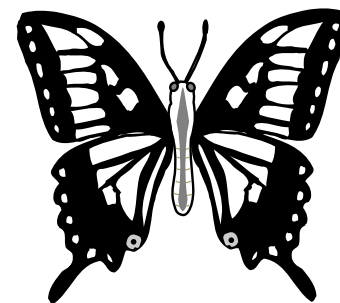
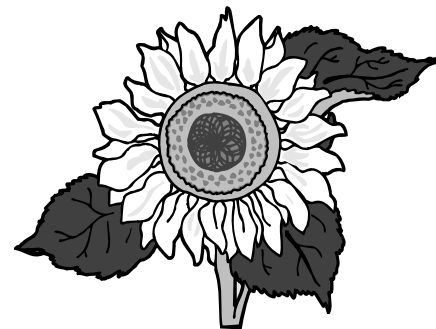
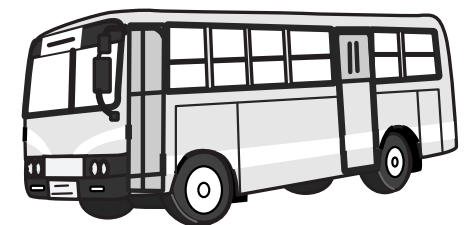
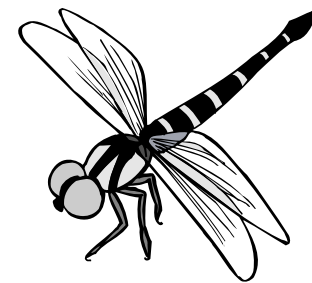
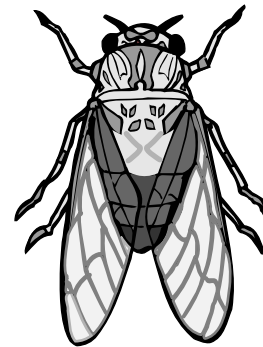
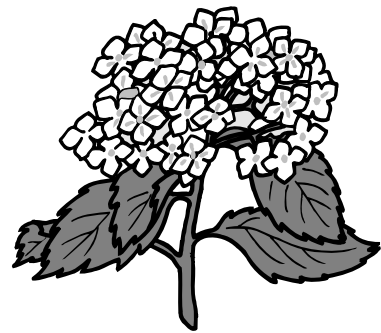
子どもの時に親とは形が違う動物がいることに気づかせましょう。図鑑などで、これらの動物の成長の様子を見せてあげるとよいでしょう。

<問題> 野菜や果物を横に切りました。あうものを線で結びましょう。

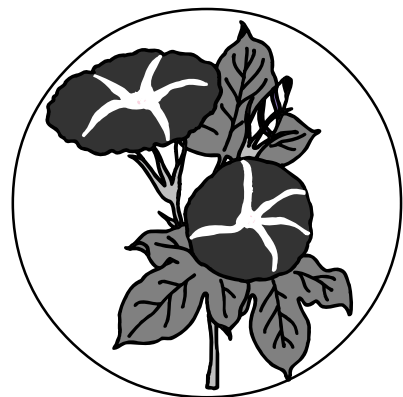


<指導のポイント>

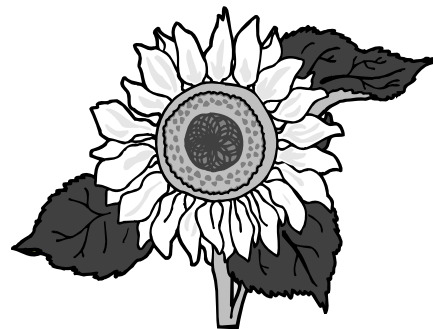
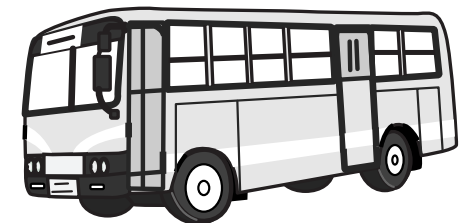
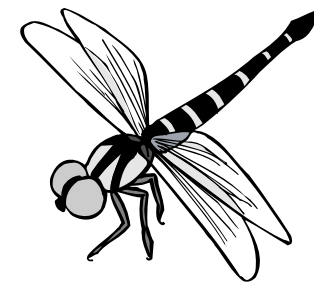
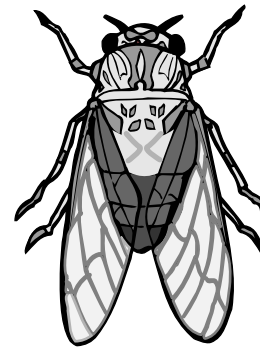
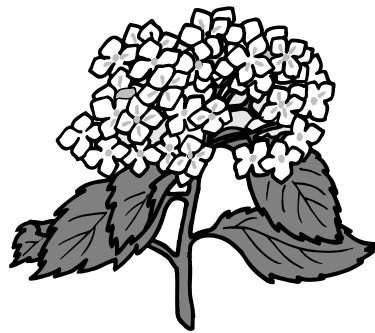
同じものでも、たてに切った時と横に切った時では違って見えることに、気づかせましょう。できれば、実際にお子さんと一緒にいろいろな野菜や果物をいろいろな方向から切って、切り口を見てみましょう。お子さんの野菜嫌いがなおるかもしれませんね。



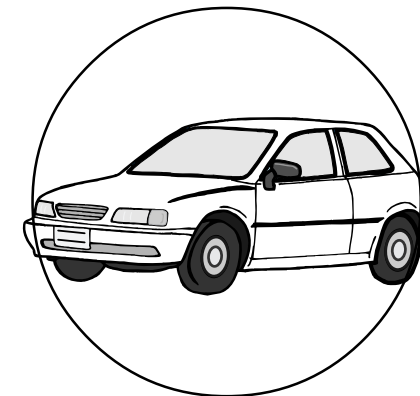
- <問題> (1)(プリントはふせておきます。集中して聞けるように、目を閉じさせましょう。)
「今から、短いお話をします。しっかり聞きましょう。」
(2)「けんじくんが、家の窓から外を見ました。庭には、あさがおの花が3つ咲いていました。あげはちょうもとんでいました。家のすぐ前を、自動車が通っていました。」
(3)(プリントを表向けてあげて下さい)「今のお話の中で、けんじくんが見たものに○をつけましょう。」



あさがお



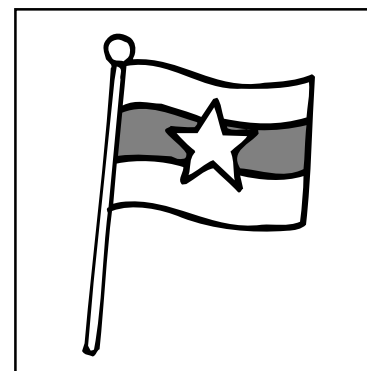
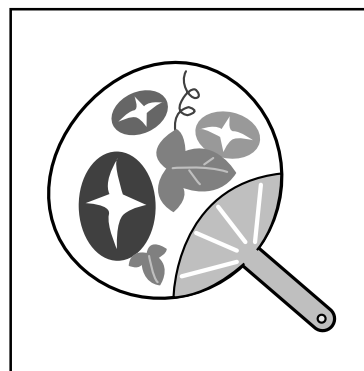
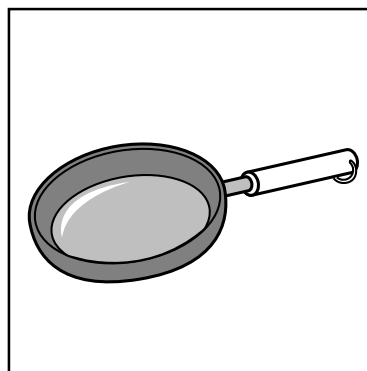
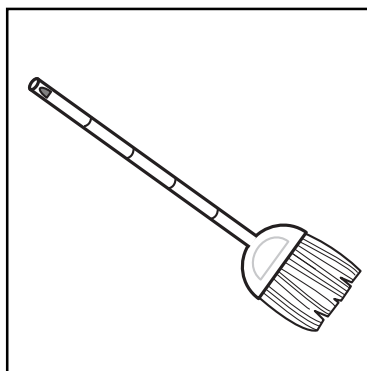
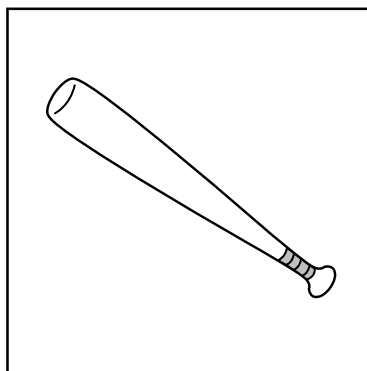
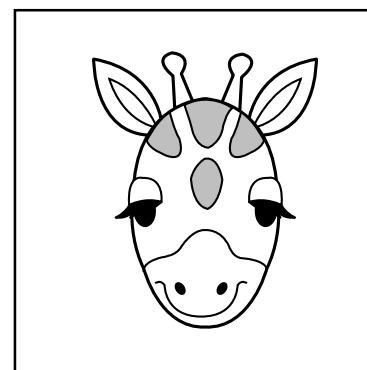
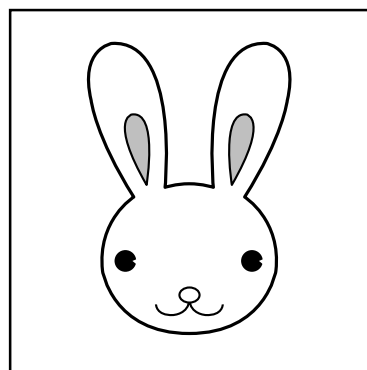
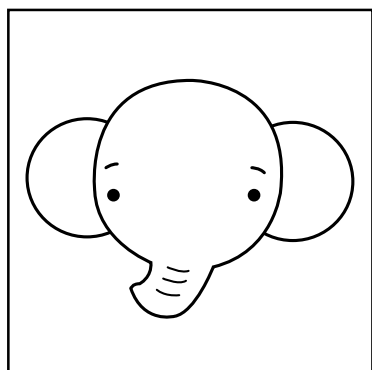
あげはちょう

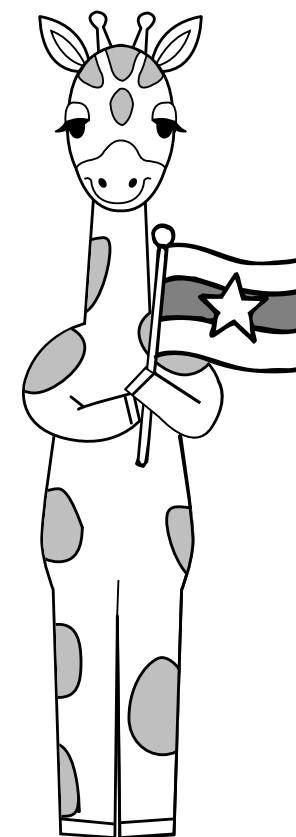
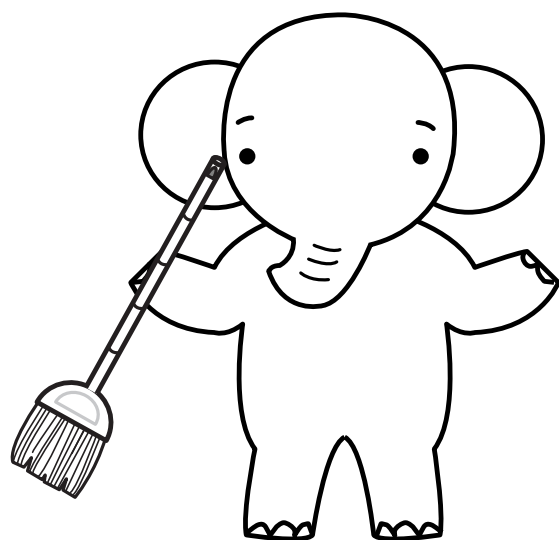
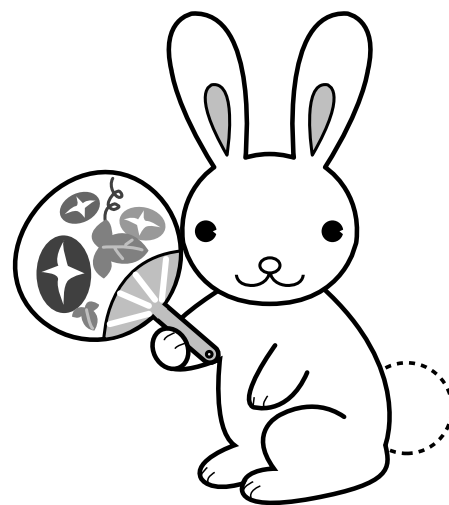


自動車

<指導のポイント>

お話をしっかり聞きとって記憶することは、日常生活でも、学習でもとても大切なことです。頭の中でお話の様子を思いうかべるようにして、聞くように指導して下さい。お子さんがつけ終わったら、答えあわせをかねてもう一度お話を読んであげましょう。ご家庭でもいろいろな本を読み聞かせたり、楽しいお話をして、聞く練習を続けるとよいでしょう。

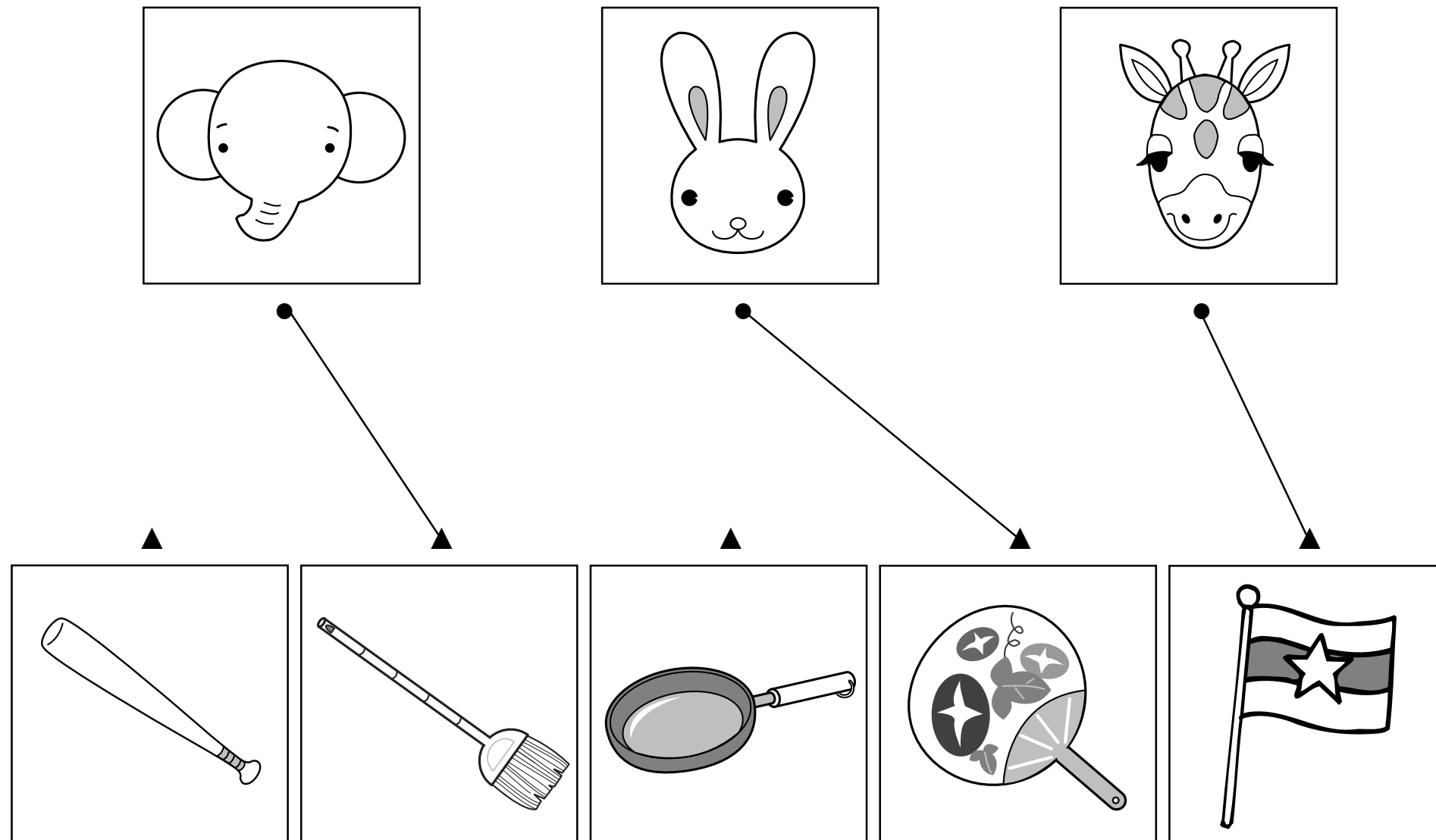




<問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を10秒間見せます。

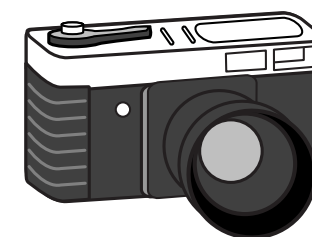
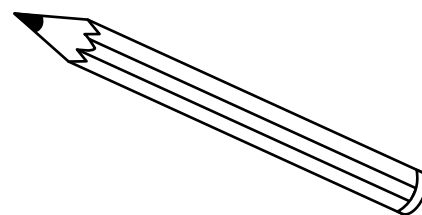
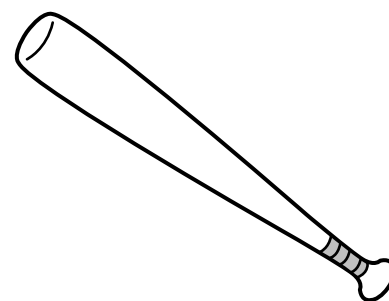
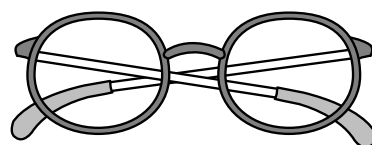
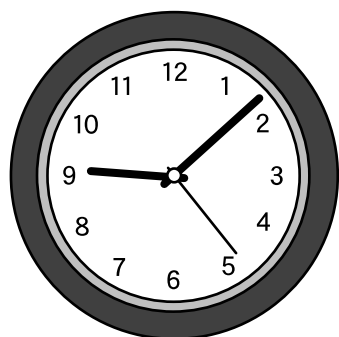
「誰が何を持っているかよく見ましょう。後から聞きますよ。」

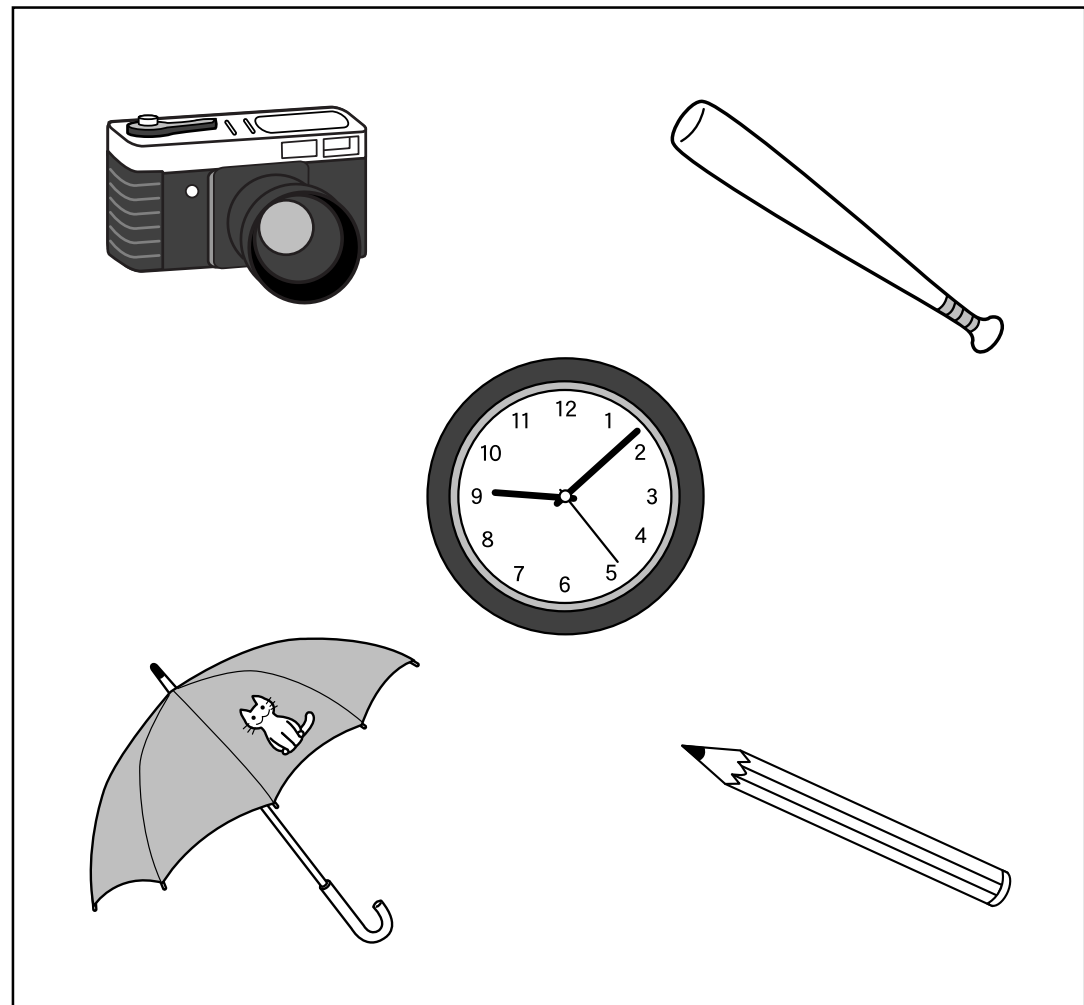
(2) プリントを表向きにして、「誰が何を持っていたか。線で結びましょう。」



<指導のポイント>

誰が何を持っているか、動物と持ち物を対応させて覚える練習です。絵を見せた後、「ぞうは何を持っていたか」と質問してあげながら、絵を線でむすばせるとよいでしょう。絵を記憶するためには注意して見るのが前提になります。絵の記憶のプリント学習をしていると注意力も身についてきます。

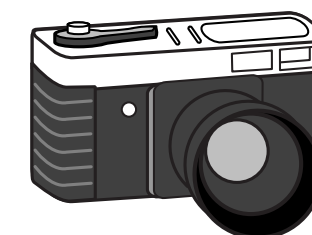
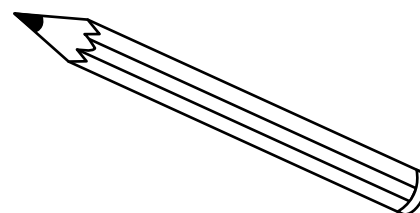
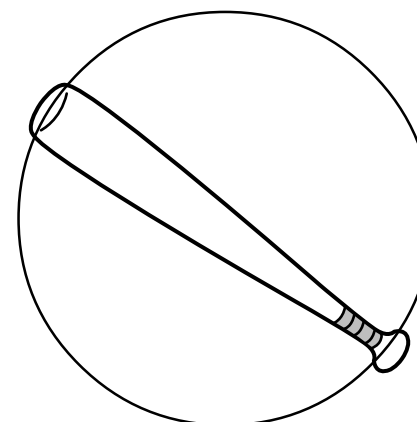
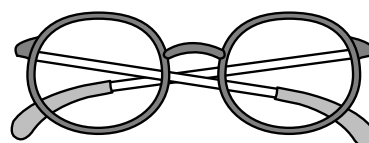
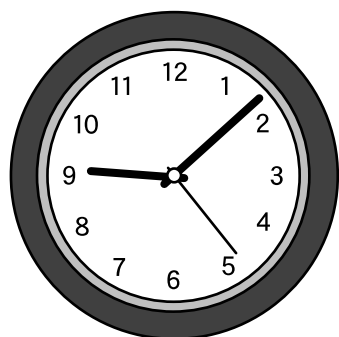




<問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を 10 秒間見せます。

「左と右にあるものは何か、絵をよく見て覚えましょう。」

(2) プリントを表向きにして、「左と右の両方にあったものに、 をつけましょう。」



<指導のポイント>

短い時間に集中して見る練習です。ゲームのように楽しいふんい気でやりましょう。10 秒間だけ絵を見せたら、すぐ絵をふせて質問して下さい。その後で答えあわせをかねて、もう一度絵を見せてあげましょう。